

新島火山ハザードマップ

1 想定火口位置、大きな噴石・火砕サージ

No.	図面名
1	新島火山ハザードマップ（想定火口位置、大きな噴石、火砕サージ）
2	新島火山ハザードマップ（想定火口位置、火砕サージ（最大規模））

2 火砕流

No.	図面名
1	新島火山ハザードマップ（火砕流（噴煙柱崩壊型）：新島北部を想定火口とした場合）
2	新島火山ハザードマップ（火砕流（噴煙柱崩壊型）：新島中央部を想定火口とした場合）
3	新島火山ハザードマップ（火砕流（噴煙柱崩壊型）：新島南部を想定火口とした場合）
4	新島火山ハザードマップ（火砕流（噴煙柱崩壊型）：新島北浅海域を想定火口とした場合）
5	新島火山ハザードマップ（火砕流（噴煙柱崩壊型）：新島南浅海域を想定火口とした場合）
6	新島火山ハザードマップ（火砕流（溶岩崩壊型）：新島北部を想定火口とした場合）
7	新島火山ハザードマップ（火砕流（溶岩崩壊型）：新島中央部を想定火口とした場合）
8	新島火山ハザードマップ（火砕流（溶岩崩壊型）：新島南部を想定火口とした場合）

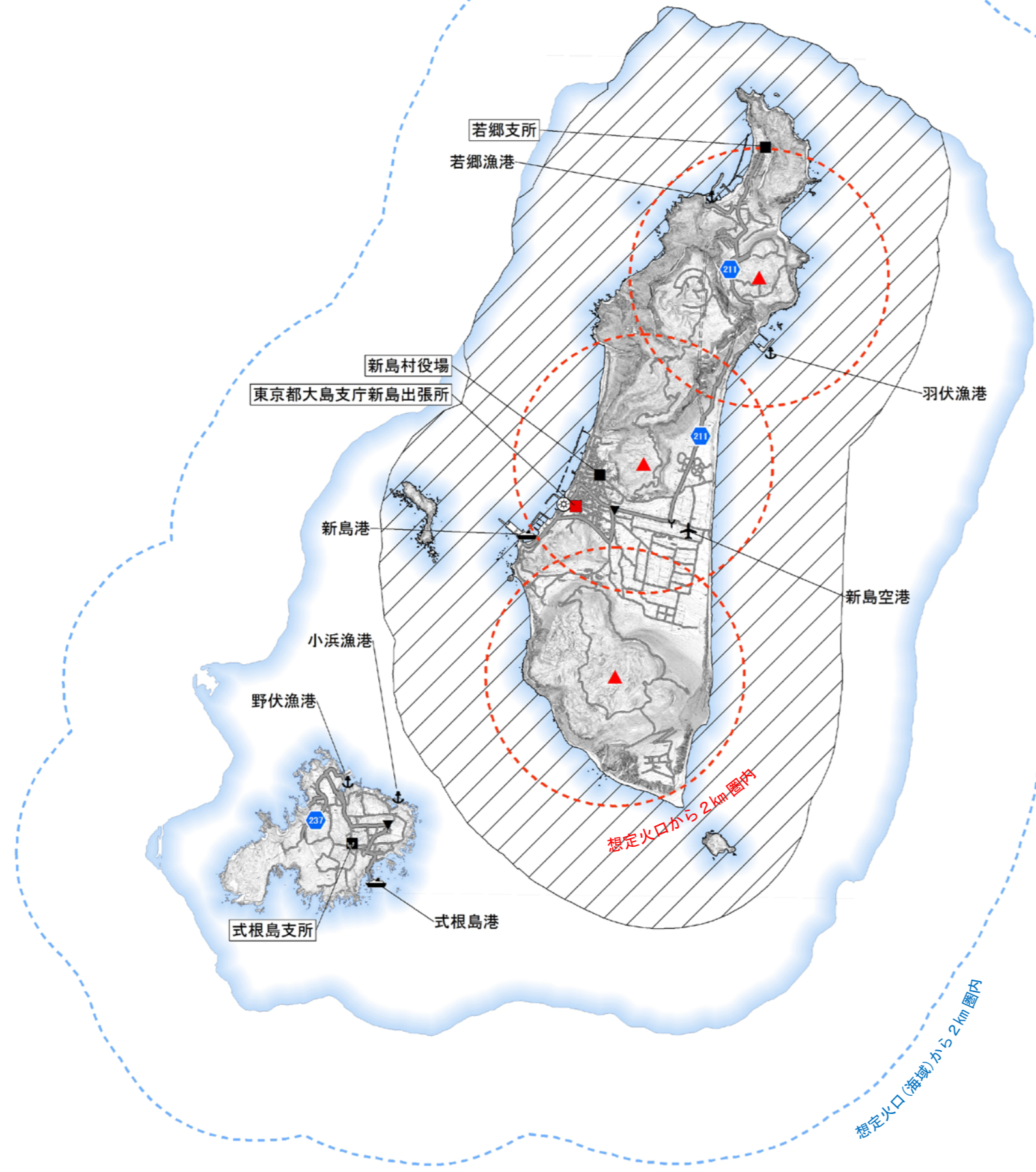
3 火山灰

No.	図面名
1	新島火山ハザードマップ（火山灰：1億 DRE m ³ 、新島北部を想定火口とした場合）
2	新島火山ハザードマップ（火山灰：1,000万 DRE m ³ 、新島北部を想定火口とした場合）
3	新島火山ハザードマップ（火山灰：100万 DRE m ³ 、新島北部を想定火口とした場合）
4	新島火山ハザードマップ（火山灰：1億 DRE m ³ 、新島中央部を想定火口とした場合）
5	新島火山ハザードマップ（火山灰：1,000万 DRE m ³ 、新島中央部を想定火口とした場合）
6	新島火山ハザードマップ（火山灰：100万 DRE m ³ 、新島中央部を想定火口とした場合）
7	新島火山ハザードマップ（火山灰：1億 DRE m ³ 、新島南部を想定火口とした場合）
8	新島火山ハザードマップ（火山灰：1,000万 DRE m ³ 、新島南部を想定火口とした場合）
9	新島火山ハザードマップ（火山灰：100万 DRE m ³ 、新島南部を想定火口とした場合）
10	新島火山ハザードマップ（火山灰：1億 DRE m ³ 、新島中央部を想定火口とした場合・広域図）

新島火山ハザードマップ（想定火口位置、大きな噴石、火砕サージ）

マップの見方

- このマップは、新島で噴火が発生する場合に火口が生じる範囲（想定火口位置）、大きな噴石及び火砕サージの到達する範囲を、類似火山等の噴火実績に基づいて予測したものである。
- 想定火口位置の範囲は、火口が生じる可能性のある範囲のうち代表的な地点または範囲を示したものであり、範囲の全てで同時に生じるものではない。また、大きな噴石及び火砕サージの到達する範囲は、想定火口位置から発生した場合の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 実際に噴火した場合、このマップに示す想定火口位置の範囲外に火口が生じる可能性がある。また、到達範囲外に大きな噴石及び火砕サージが到達する可能性がある。



< 凡例(火山現象) >

	想定火口位置	到達範囲
マグマ噴火 マグマ噴火 水蒸気噴火	▲	大きな噴石 火砕サージ (2km圏内)
マグマ噴火 水蒸気噴火	■	大きな噴石 火砕サージ (2km圏内)
マグマ噴火 水蒸気噴火	海域 (水深100m以浅)	海域における噴火で、大きな噴石、火砕サージが陸域に影響する可能性のある範囲(2km圏内)

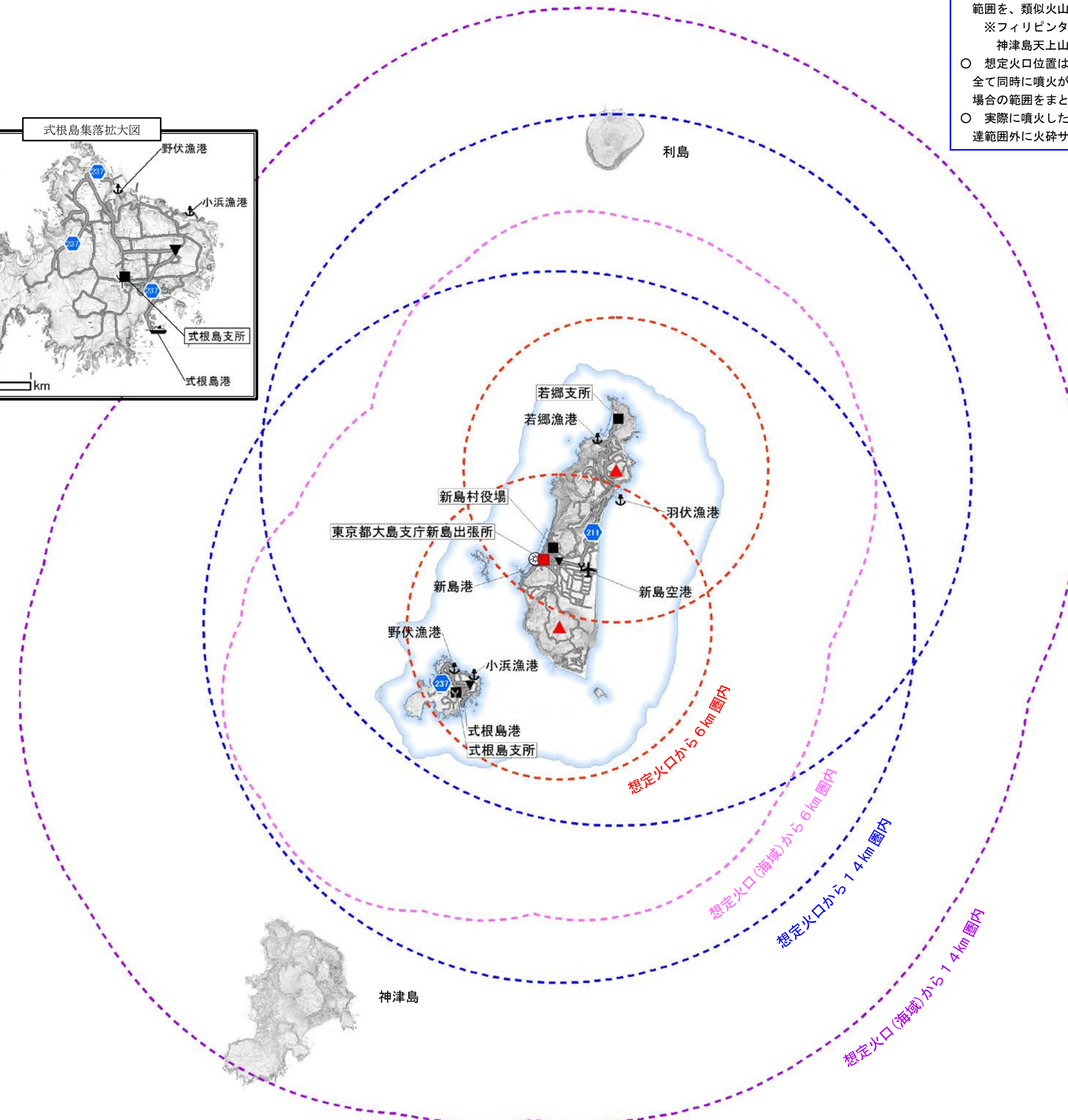
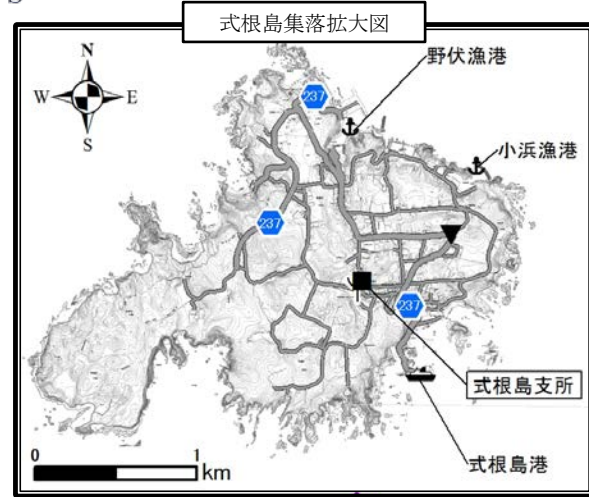
< 凡例(施設) >

■	支庁出張所
■	村役場・支所
Y	消防所
▼	警察署・駐在所
—●—	都道
—	主要な村道
⚓	港湾
⚓	漁港
✈	空港
⊕	内燃力発電所

新島火山ハザードマップ（想定火口位置、火砕サージ（最大規模））

マップの見方

- このマップは、新島で最大規模のマグマ水蒸気噴火が発生する場合に、火砕サージが到達する最大到達範囲を、類似火山等の噴火実績に基づいて予測したものである。
 ※フィリピンタール火山の噴火実績（1965年）：最大6km
 神津島天上山の噴火実績（838年）：最大14km
- 想定火口位置は、火口が生じる可能性のある範囲のうち代表的な地点または範囲を示したものであり、全て同時に噴火が生じるものではない。また、火砕サージの到達する範囲は、想定火口位置から発生した場合の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 実際に噴火した場合、このマップに示す想定火口位置の範囲外に火口が生じる可能性がある。また、到達範囲外に火砕サージが到達する可能性がある。



< 凡例(火山現象) >

	想定火口位置	到達範囲
マグマ水蒸気噴火	▲	6km圏内 フィリピンタール火山の事例(1965年)
		14km圏内 神津島天上山の事例(838年)
海域 (水深100m以浅)	■	6km圏内 フィリピンタール火山の事例(1965年)
		14km圏内 神津島天上山の事例(838年)

< 凡例(施設) >

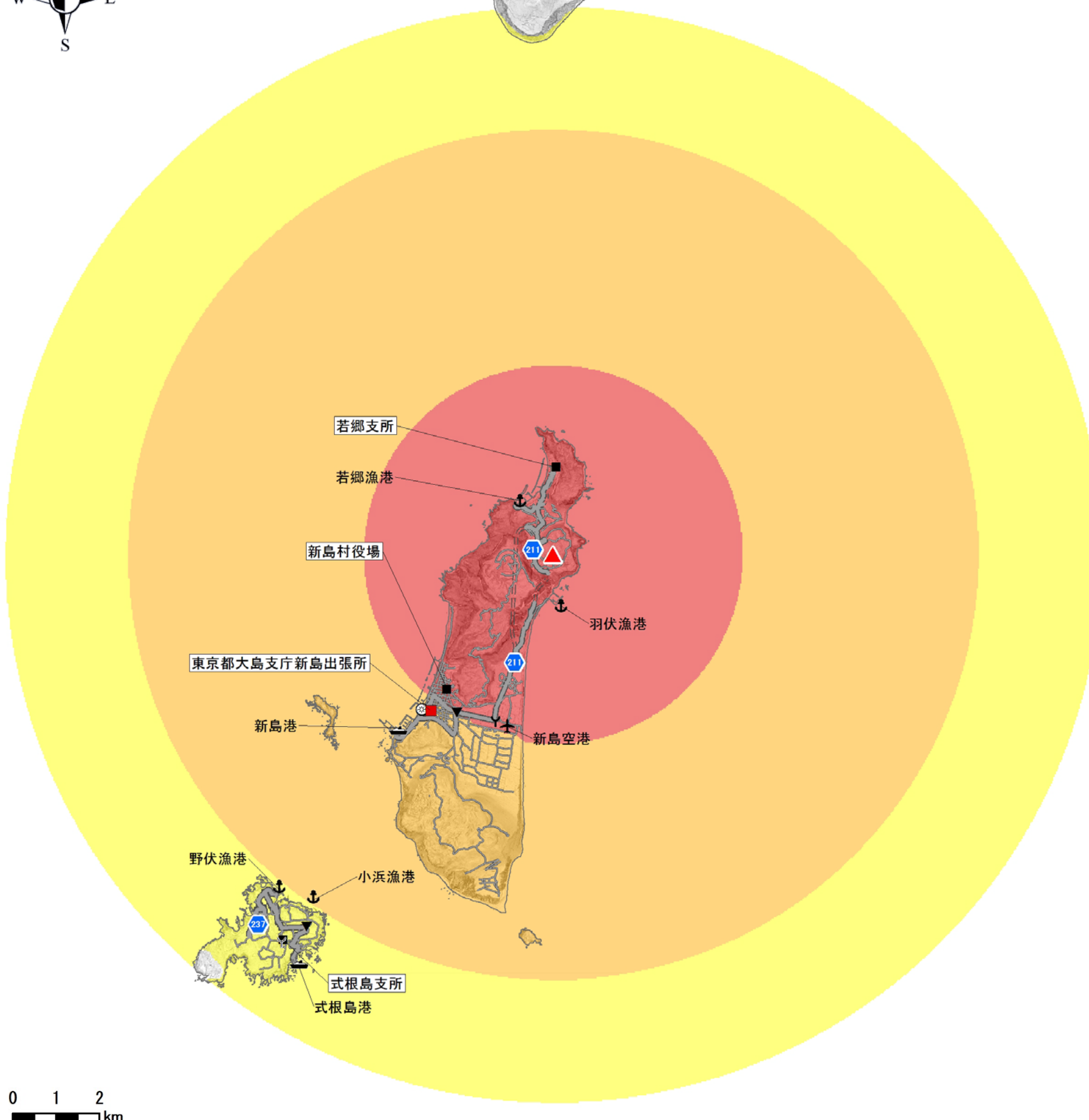
■	支庁出張所
■	村役場・支所
Y	消防所
▼	警察署・駐在所
—●—	都道
—	主要な村道
⚓	港湾
⚓	漁港
✈	空港
⊕	内燃力発電所

新島火山ハザードマップ（火砕流（噴煙柱崩壊型）：新島北部を想定火口とした場合）

マップの見方

- このマップは、新島で噴火が発生し、想定火口から1億DREm³、1,000万DREm³、100万DREm³の火砕流（噴煙柱崩壊型）が流下した場合に到達する範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、エネルギーコーンモデルを用いて全方向の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 想定火口位置は、火口が生じる可能性のある代表的な地点のひとつを示したものであり、このほかの範囲に火口が生じる可能性がある。また、実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模等の条件によって到達範囲は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

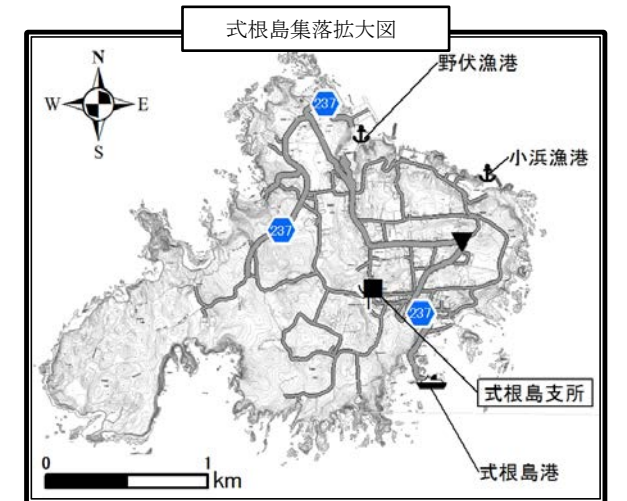


< 凡例(火山現象) >

	想定火口位置
	危険区域A 比較的小規模な噴火でも火砕流が到達する可能性がある範囲 (100万DREm ³ を想定)
	危険区域B 中規模な噴火で火砕流が到達する可能性がある範囲 (1,000万DREm ³ を想定)
	危険区域C 大規模な噴火で火砕流が到達する可能性がある範囲 (1億DREm ³ を想定)

< 凡例(施設) >

	支庁出張所
	村役場・支所
	消防所
	警察署・駐在所
	都道
	主要な村道
	港湾
	漁港
	空港
	内燃力発電所



新島火山ハザードマップ（火砕流（噴煙柱崩壊型）：新島中央部を想定火口とした場合）

マップの見方

- このマップは、新島で噴火が発生し、想定火口から1億DREm³、1,000万DREm³、100万DREm³の火砕流（噴煙柱崩壊型）が流下した場合に到達する範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、エナジーコーンモデルを用いて全方向の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 想定火口位置は、火口が生じる可能性のある代表的な地点のひとつを示したものであり、このほかの範囲に火口が生じる可能性がある。また、実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模等の条件によって到達範囲は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

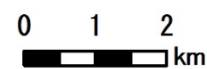
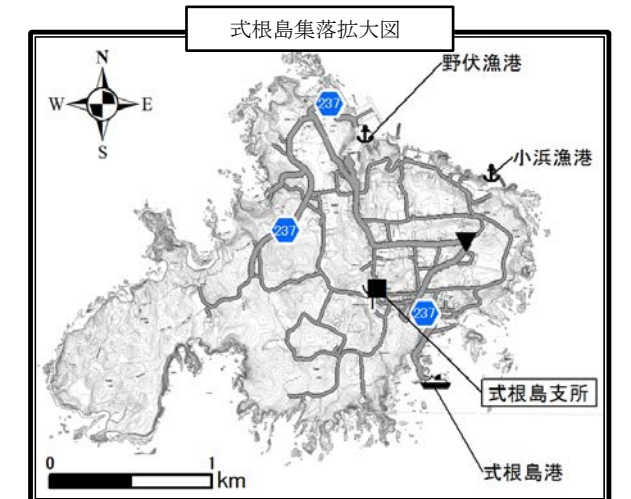


< 凡例(火山現象) >

	想定火口位置
	危険区域A 比較的小規模な噴火でも火砕流が到達する可能性がある範囲 (100万DREm ³ を想定)
	危険区域B 中規模な噴火で火砕流が到達する可能性がある範囲 (1,000万DREm ³ を想定)
	危険区域C 大規模な噴火で火砕流が到達する可能性がある範囲 (1億DREm ³ を想定)

< 凡例(施設) >

	支庁出張所
	村役場・支所
	消防所
	警察署・駐在所
	都道
	主要な村道
	港湾
	漁港
	空港
	内燃力発電所

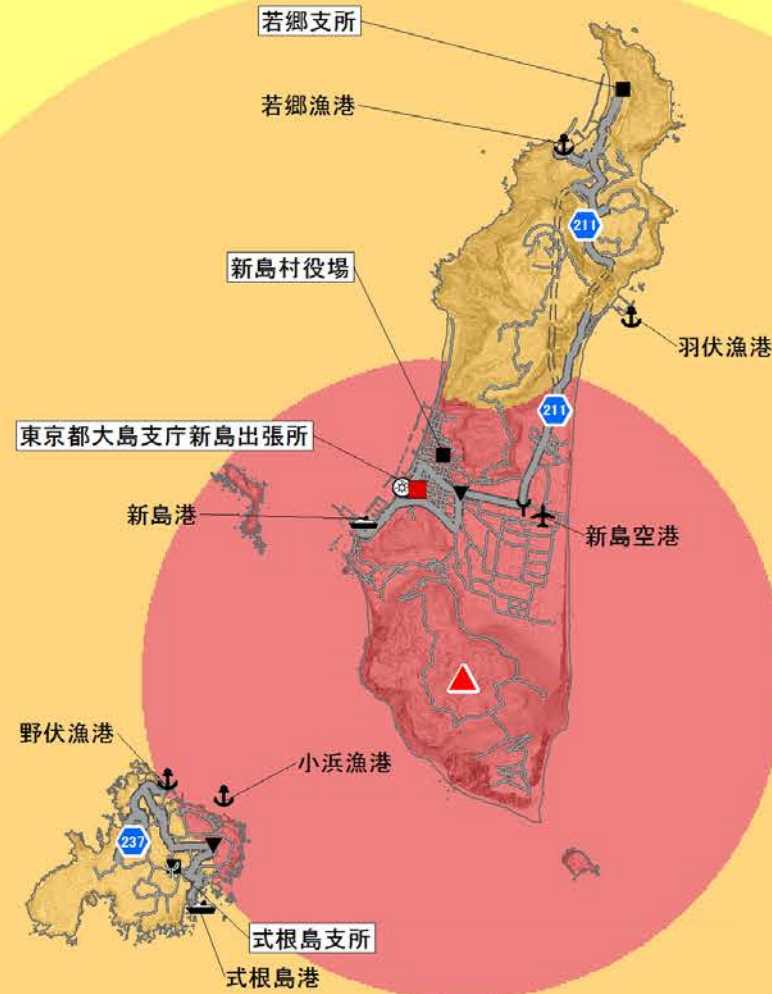


新島火山ハザードマップ（火砕流（噴煙柱崩壊型）：新島南部を想定火口とした場合）

マップの見方

- このマップは、新島で噴火が発生し、想定火口から1億DREm³、1,000万DREm³、100万DREm³の火砕流（噴煙柱崩壊型）が流下した場合に到達する範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、エネルギーコーンモデルを用いて全方向の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 想定火口位置は、火口が生じる可能性のある代表的な地点のひとつを示したものであり、このほかの範囲に火口が生じる可能性がある。また、実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模等の条件によって到達範囲は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

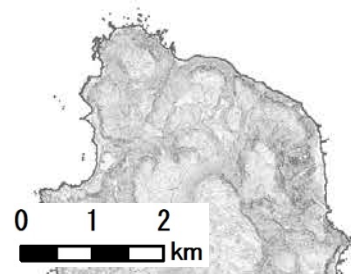
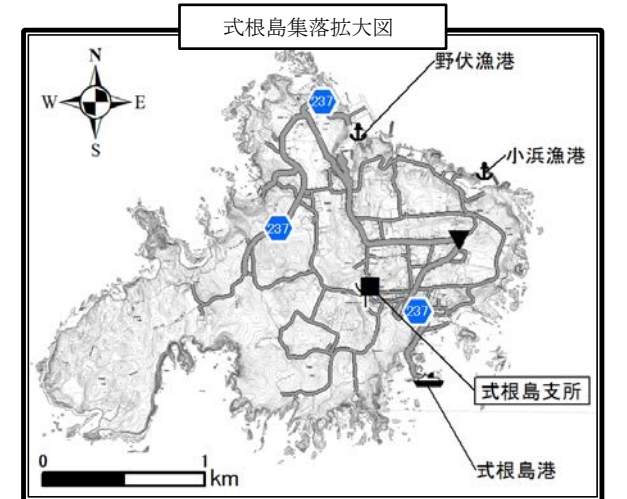


< 凡例(火山現象) >

	想定火口位置
	危険区域A 比較的小規模な噴火でも火砕流が到達する可能性がある範囲 (100万DREm ³ を想定)
	危険区域B 中規模な噴火で火砕流が到達する可能性がある範囲 (1,000万DREm ³ を想定)
	危険区域C 大規模な噴火で火砕流が到達する可能性がある範囲 (1億DREm ³ を想定)

< 凡例(施設) >

	支庁出張所
	村役場・支所
	消防所
	警察署・駐在所
	都道
	主要な村道
	港湾
	漁港
	空港
	内燃力発電所

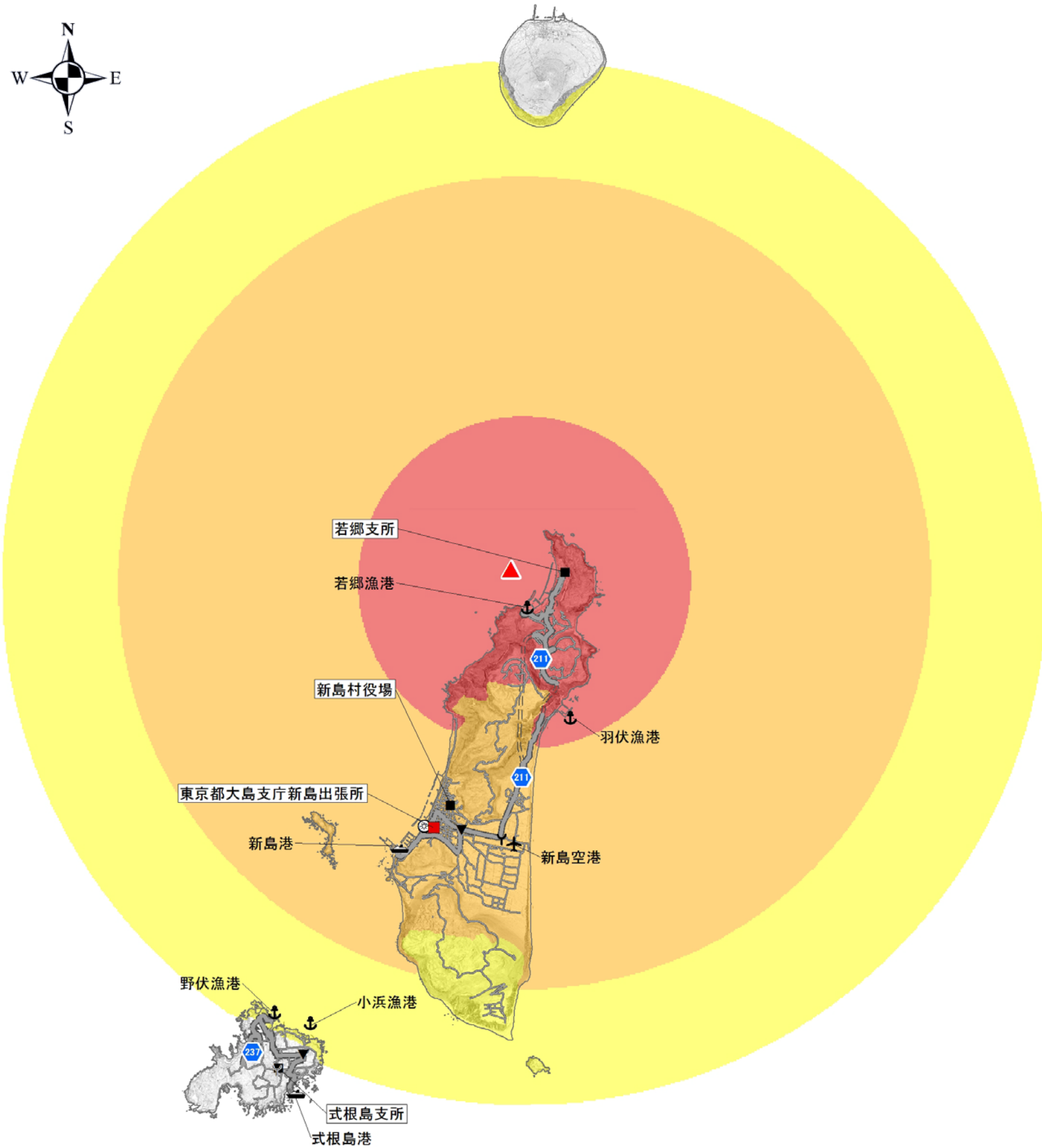


新島火山ハザードマップ（火砕流（噴煙柱崩壊型）：新島北浅海域を想定火口とした場合）

マップの見方

- このマップは、新島で噴火が発生し、想定火口から1億DREm³、1,000万DREm³、100万DREm³の火砕流（噴煙柱崩壊型）が流下した場合に到達する範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、エナジーコーンモデルを用いて全方向の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 想定火口位置は、火口が生じる可能性のある代表的な地点のひとつを示したものであり、このほかの範囲に火口が生じる可能性がある。また、実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模等の条件によって到達範囲は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

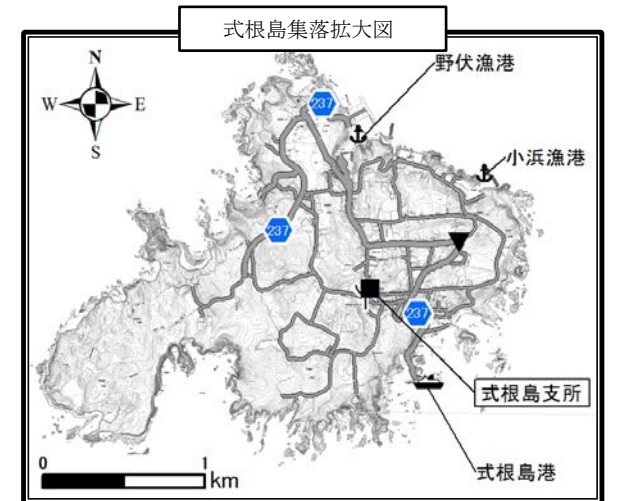


< 凡例(火山現象) >

	想定火口位置
	危険区域A 比較的小規模な噴火でも火砕流が到達する可能性がある範囲 (100万DREm ³ を想定)
	危険区域B 中規模な噴火で火砕流が到達する可能性がある範囲 (1,000万DREm ³ を想定)
	危険区域C 大規模な噴火で火砕流が到達する可能性がある範囲 (1億DREm ³ を想定)

< 凡例(施設) >

	支庁出張所
	村役場・支所
	消防所
	警察署・駐在所
	都道
	主要な村道
	港湾
	漁港
	空港
	内燃力発電所

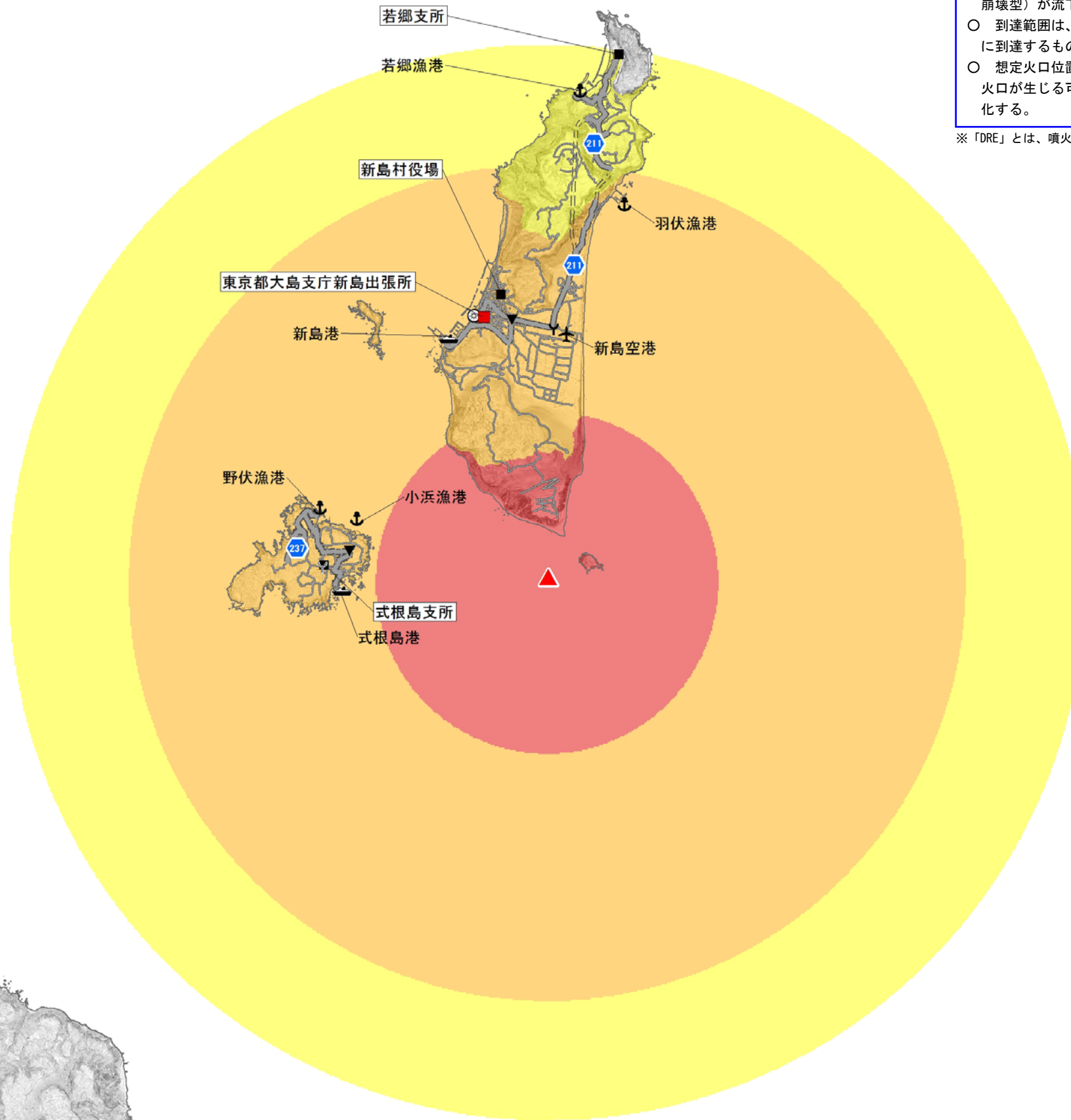


新島火山ハザードマップ（火砕流（噴煙柱崩壊型）：新島南浅海域を想定火口とした場合）

マップの見方

- このマップは、新島で噴火が発生し、想定火口から1億DREm³、1,000万DREm³、100万DREm³の火砕流（噴煙柱崩壊型）が流下した場合に到達する範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、エネルギーコーンモデルを用いて全方向の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 想定火口位置は、火口が生じる可能性のある代表的な地点のひとつを示したものであり、このほかの範囲に火口が生じる可能性がある。また、実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模等の条件によって到達範囲は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出量をマグマの容積に換算したものである。

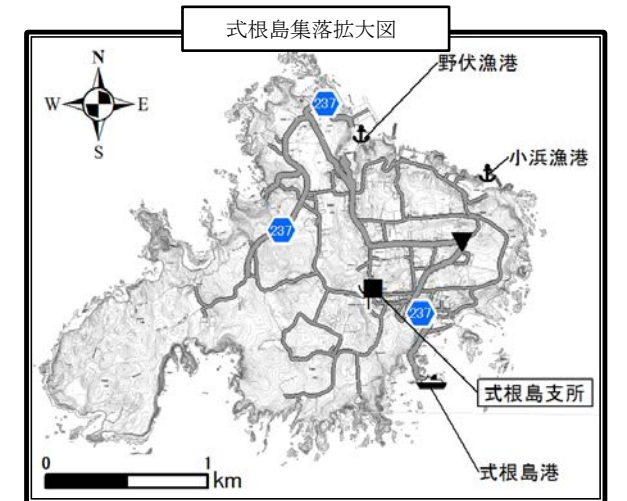


< 凡例(火山現象) >

	想定火口位置	
	危険区域A	比較的小規模な噴火でも火砕流が到達する可能性がある範囲 (100万DREm ³ を想定)
	危険区域B	中規模な噴火で火砕流が到達する可能性がある範囲 (1,000万DREm ³ を想定)
	危険区域C	大規模な噴火で火砕流が到達する可能性がある範囲 (1億DREm ³ を想定)

< 凡例(施設) >

	支庁出張所
	村役場・支所
	消防所
	警察署・駐在所
	都道
	主要な村道
	港湾
	漁港
	空港
	内燃力発電所



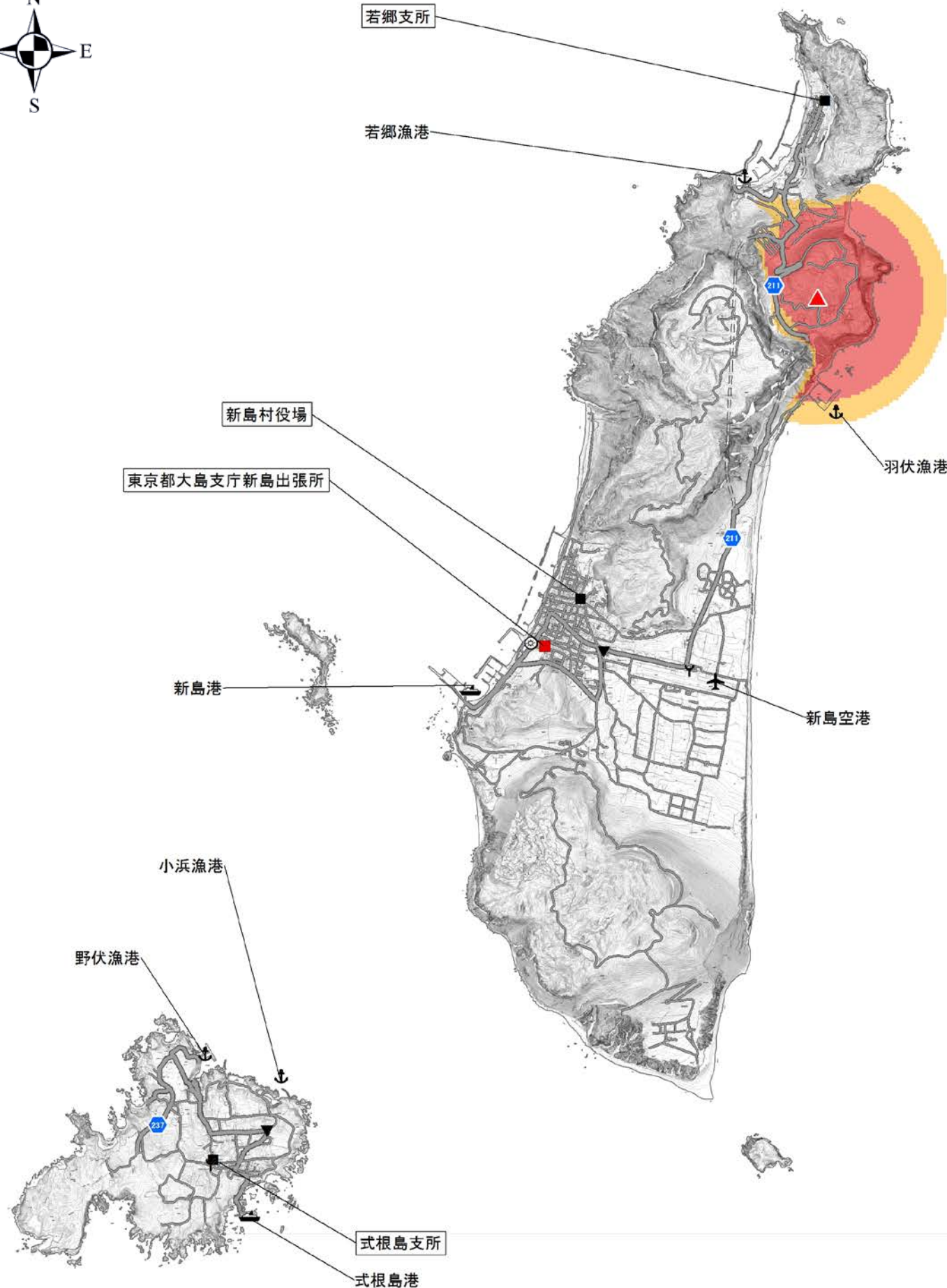
0 1 2 km

新島火山ハザードマップ（火砕流（溶岩崩壊型）：新島北部を想定火口とした場合）

マップの見方

- このマップは、新島で噴火が発生し、想定火口から1,000万DREm³、100万DREm³の火砕流（溶岩崩壊型）が流下した場合に到達する範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、エナジーコーンモデルを用いて全方向の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 想定火口位置は、火口が生じる可能性のある代表的な地点のひとつを示したものであり、このほかの範囲に火口が生じる可能性がある。また、実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模等の条件によって到達範囲は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。



< 凡例(火山現象) >

	想定火口位置
	危険区域A 比較的小規模な噴火でも火砕流が到達する可能性がある範囲 (100万DREm ³ を想定)
	危険区域B 中規模な噴火で火砕流が到達する可能性がある範囲 (1,000万DREm ³ を想定)

< 凡例(施設) >

	支庁出張所
	村役場・支所
	消防所
	警察署・駐在所
	都道
	主要な村道
	港湾
	漁港
	空港
	内燃力発電所






新島火山ハザードマップ（火砕流（溶岩崩壊型）：新島中央部を想定火口とした場合）

マップの見方

- このマップは、新島で噴火が発生し、想定火口から1,000万DRE^{m3}、100万DRE^{m3}の火砕流（溶岩崩壊型）が流下した場合に到達する範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、エナジーコーンモデルを用いて全方向の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 想定火口位置は、火口が生じる可能性のある代表的な地点のひとつを示したものであり、このほかの範囲に火口が生じる可能性がある。また、実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模等の条件によって到達範囲は変化する。

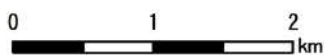
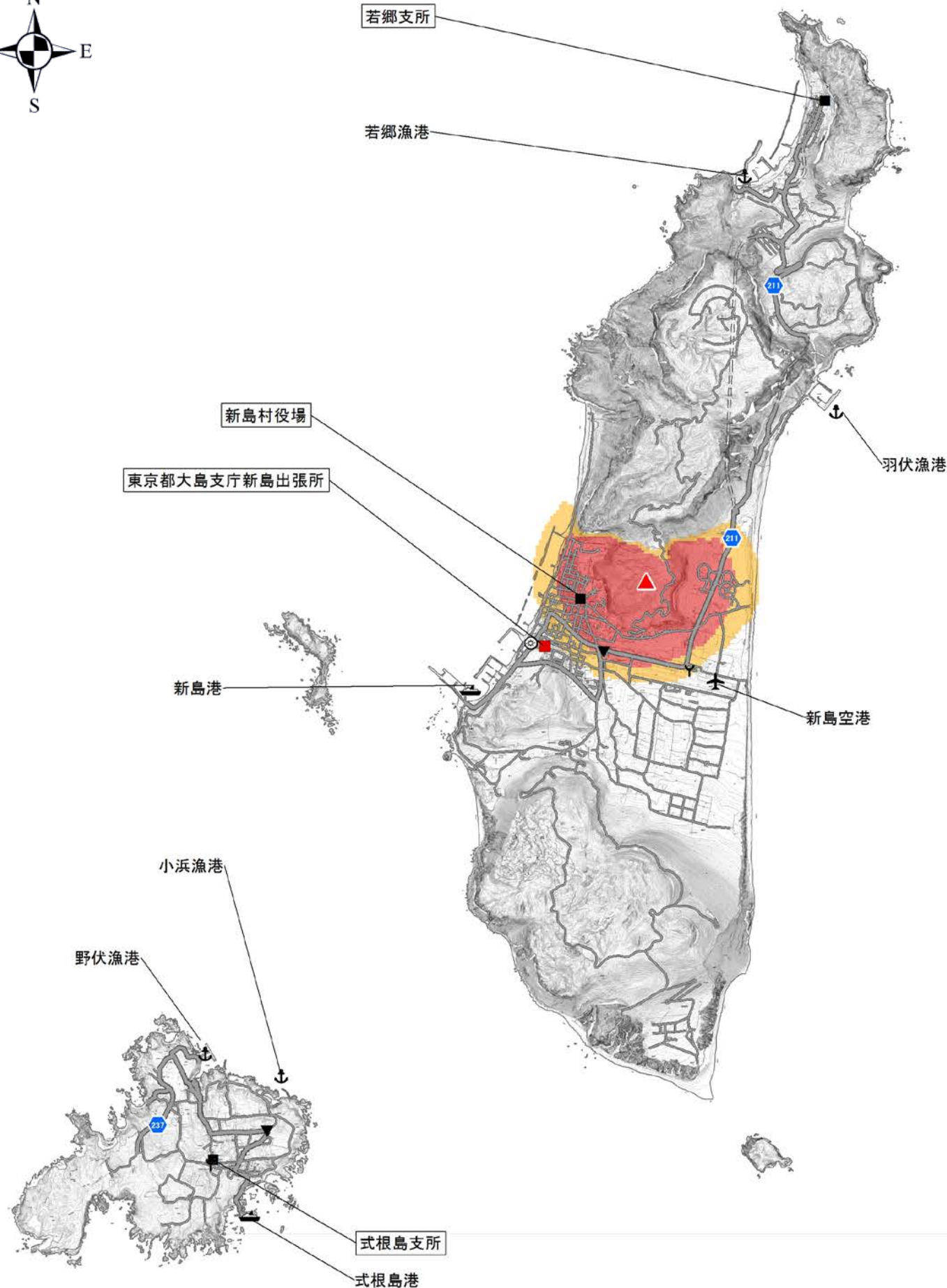
※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

< 凡例(火山現象) >

	想定火口位置
	危険区域A 比較的小規模な噴火でも火砕流が到達する可能性がある範囲 (100万DRE ^{m3} を想定)
	危険区域B 中規模な噴火で火砕流が到達する可能性がある範囲 (1,000万DRE ^{m3} を想定)

< 凡例(施設) >

	支庁出張所
	村役場・支所
	消防所
	警察署・駐在所
	都道
	主要な村道
	港湾
	漁港
	空港
	内燃力発電所

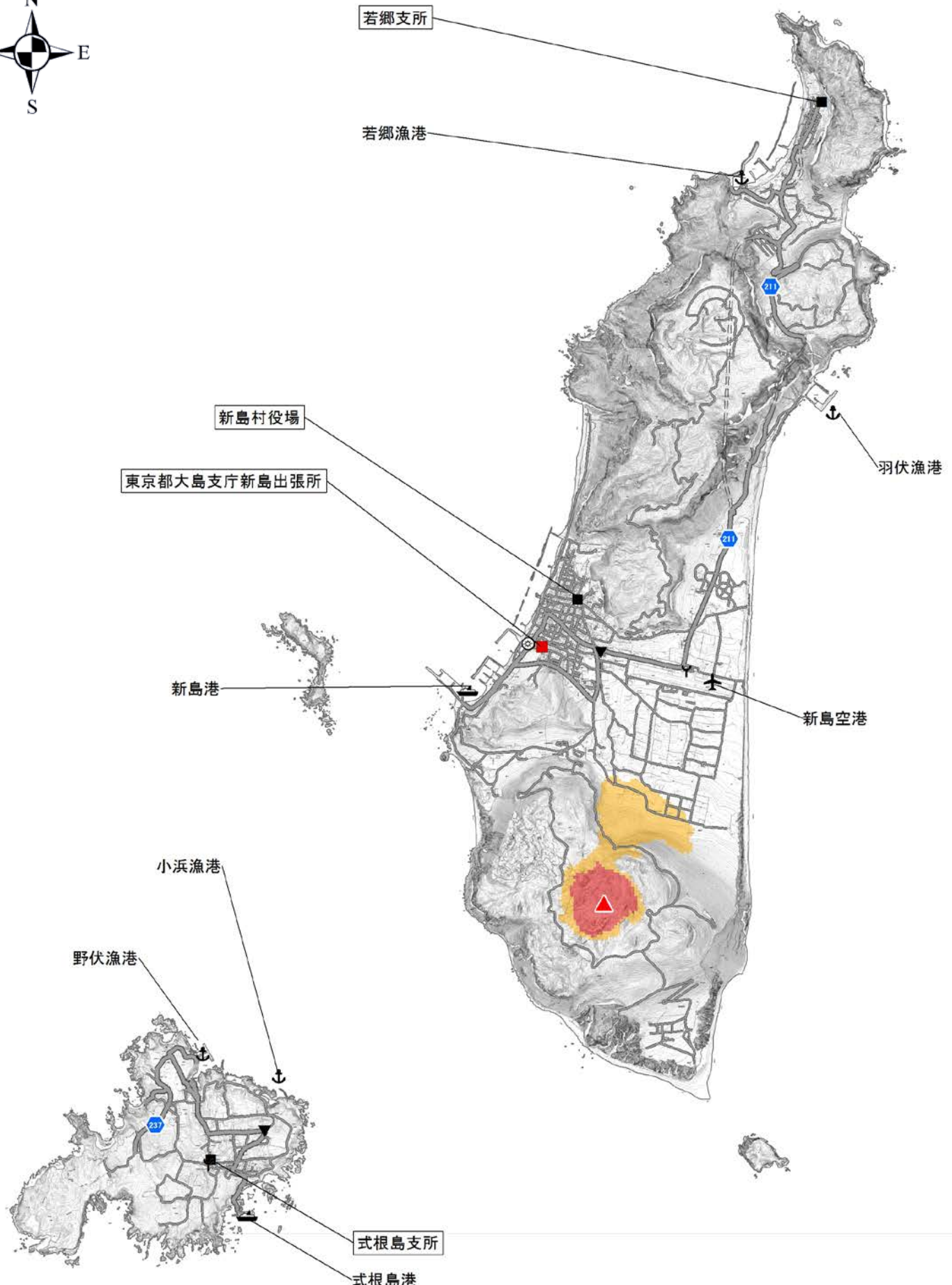


新島火山ハザードマップ（火砕流（溶岩崩壊型）：新島南部を想定火口とした場合）

マップの見方

- このマップは、新島で噴火が発生し、想定火口から1,000万DRE^{m3}、100万DRE^{m3}の火砕流（溶岩崩壊型）が流下した場合に到達する範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 到達範囲は、エナジーコーンモデルを用いて全方向の範囲をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に到達するものではない。
- 想定火口位置は、火口が生じる可能性のある代表的な地点のひとつを示したものであり、このほかの範囲に火口が生じる可能性がある。また、実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模等の条件によって到達範囲は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。

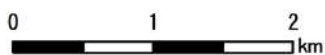


< 凡例(火山現象) >

	想定火口位置
	危険区域A 比較的小規模な噴火でも火砕流が到達する可能性がある範囲 (100万DRE ^{m3} を想定)
	危険区域B 中規模な噴火で火砕流が到達する可能性がある範囲 (1,000万DRE ^{m3} を想定)

< 凡例(施設) >

	支庁出張所
	村役場・支所
	消防所
	警察署・駐在所
	都道
	主要な村道
	港湾
	漁港
	空港
	内燃力発電所

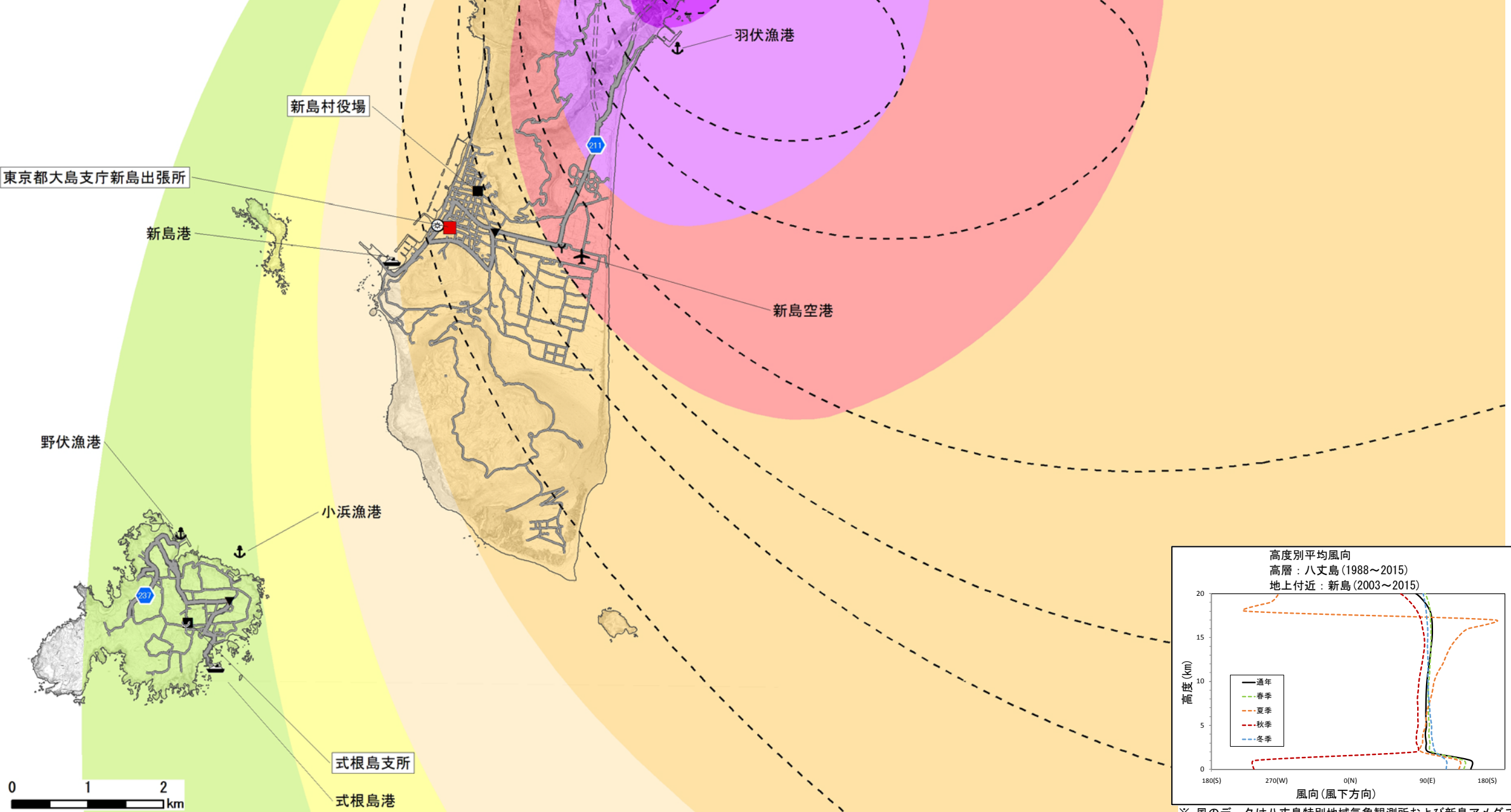
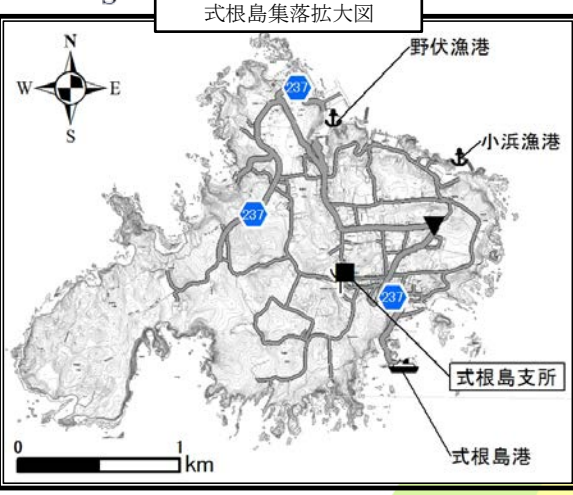


新島火山ハザードマップ（火山灰：1億 DRE m³、新島北部を想定火口とした場合）

マップの見方

- このマップは新島で噴火が発生し、想定火口から1億DREm³の火山灰（小さな噴石を含む。以下同様）が噴出した場合に堆積する厚さ及び範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 風向のばらつきを考慮した分布（カラー表示）は、季節による風向のばらつきを考慮した分布をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に堆積するものではない。
- 実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模、風向、風速等の条件によって分布は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものである。



< 凡例(火山現象) >

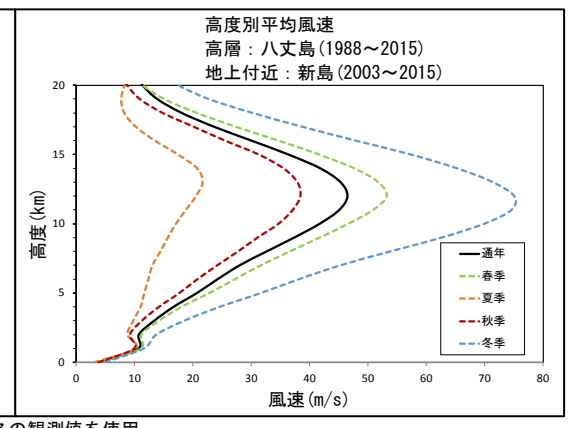
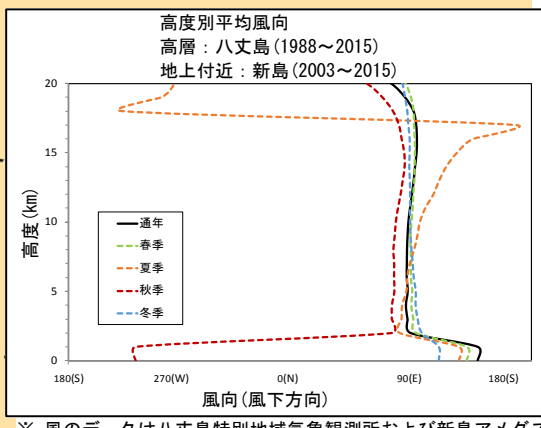
想定火口位置	▲
年平均風向風速による降灰堆積厚分布	-----
風向のばらつきを考慮した降灰堆積厚分布	1cm以上堆積
	3cm以上堆積
	5cm以上堆積
	10cm以上堆積
	30cm以上堆積
	100cm以上堆積

< 凡例(施設) >

■	支庁出張所
■	村役場・支所
Y	消防所
▼	警察署・駐在所
—●—	都道
—	主要な村道
⚓	港湾
⚓	漁港
✈	空港
⊕	内燃力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメータ	設定値
噴出量（見かけ体積）	2.5億m ³
噴出量（DRE体積）	1億m ³
噴煙柱高度	19.3km
風向	高度別年平均風向と平均風向±σ
風速	高度別年平均風速



※ 風のデータは八丈島特別地域気象観測所および新島アメダスの観測値を使用

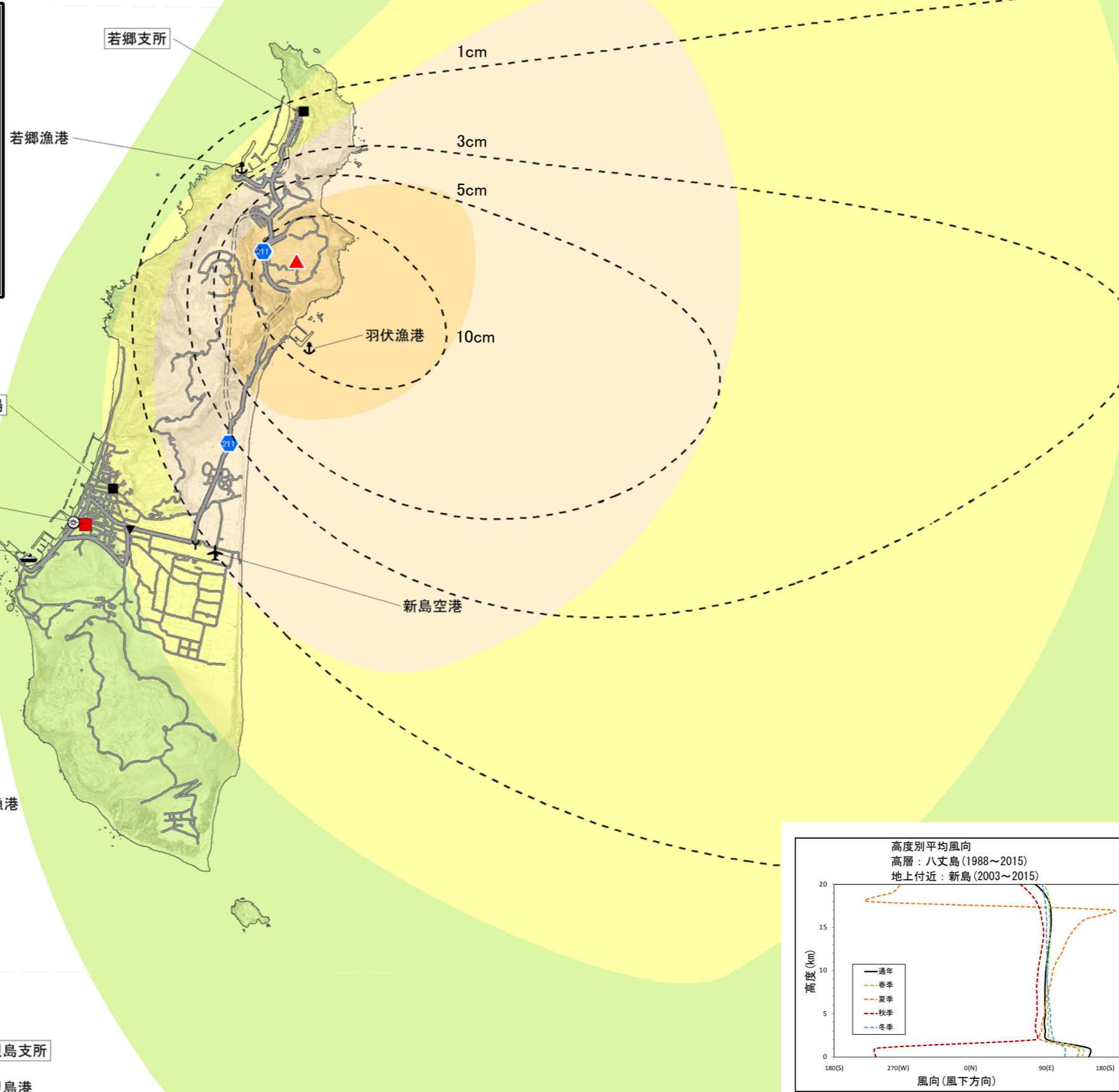
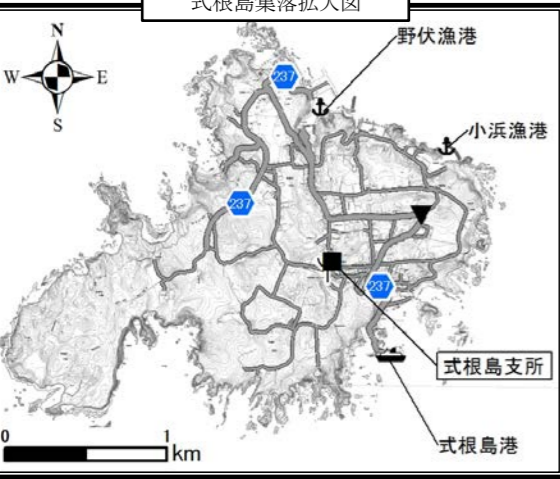
この地図は、国土院院長の承認（平 19 関公第 377 号）を得て作成した東京都地形図（S=1:2,500）を使用（29 都市基交第 496 号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。

新島火山ハザードマップ（火山灰：1,000万DRE m³、新島北部を想定火口とした場合）

マップの見方

- このマップは新島で噴火が発生し、想定火口から1,000万DREm³の火山灰（小さな噴石を含む。以下同様）が噴出した場合に堆積する厚さ及び範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 風向のばらつきを考慮した分布（カラー表示）は、季節による風向のばらつきを考慮した分布をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に堆積するものではない。
- 実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模、風向、風速等の条件によって分布は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものの。



< 凡例(火山現象) >

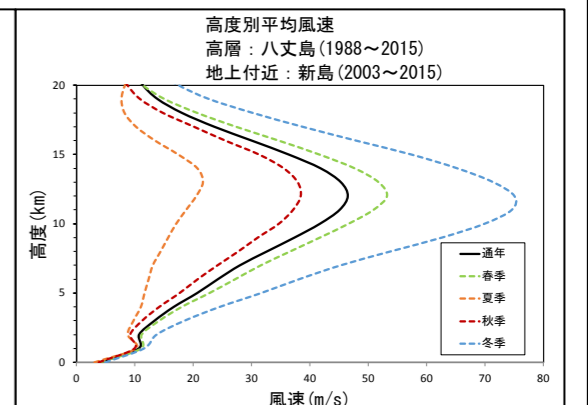
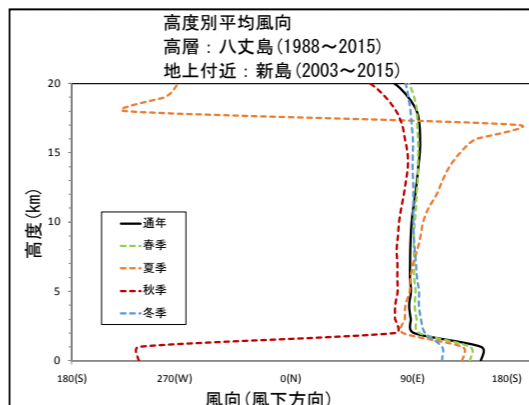
想定火口位置	▲
年平均風向風速による降灰堆積厚分布	-----
風向のばらつきを考慮した降灰堆積厚分布	1cm以上堆積
	3cm以上堆積
	5cm以上堆積
	10cm以上堆積

< 凡例(施設) >

■	支庁出張所
■	村役場・支所
Y	消防所
▼	警察署・駐在所
●	都道
—	主要な村道
錨	港湾
錨	漁港
✈	空港
⊕	内燃力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメータ	設定値
噴出量(見かけ体積)	2,500万m ³
噴出量(DRE体積)	1,000万m ³
噴煙柱高度	12.7km
風向	高度別年平均風向と平均風向±σ
風速	高度別年平均風速



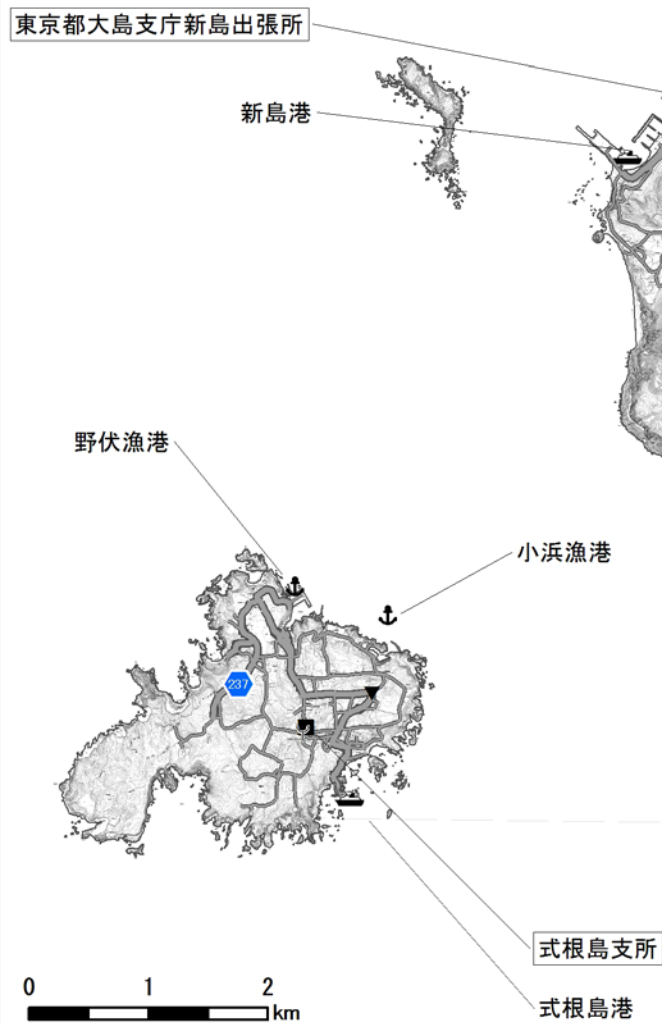
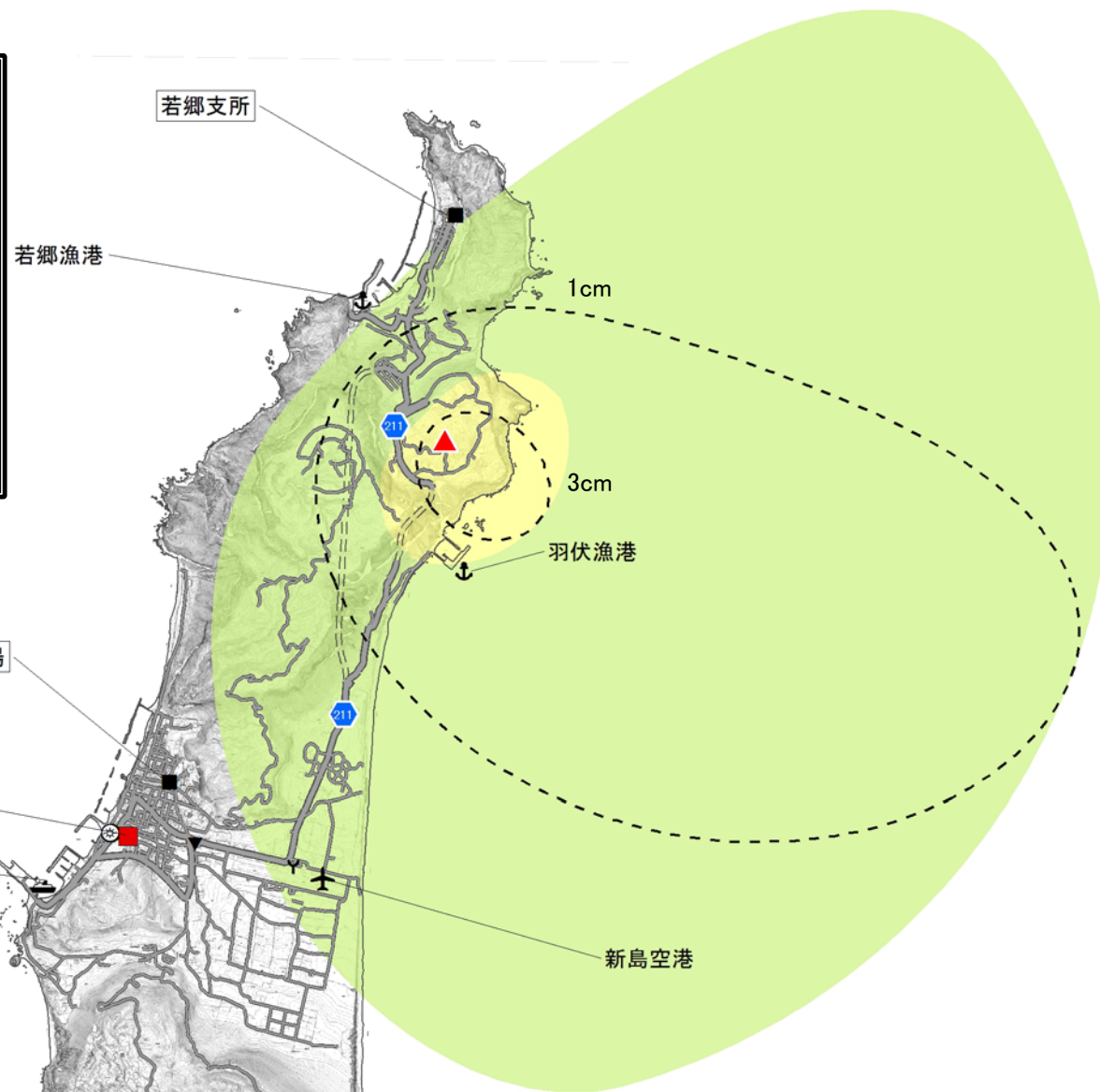
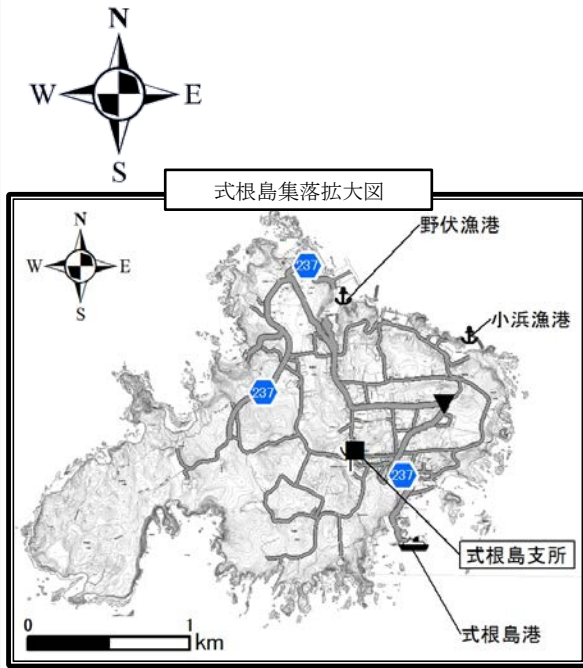
※ 風のデータは八丈島特別地域気象観測所および新島アメダスの観測値を使用

新島火山ハザードマップ（火山灰：100万 DRE m³、新島北部を想定火口とした場合）

マップの見方

- このマップは新島で噴火が発生し、想定火口から100万DREm³の火山灰（小さな噴石を含む。以下同様）が噴出した場合に堆積する厚さ及び範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 風向のばらつきを考慮した分布（カラー表示）は、季節による風向のばらつきを考慮した分布をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に堆積するものではない。
- 実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模、風向、風速等の条件によって分布は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物をマグマの容積に換算したものの。



< 凡例(火山現象) >

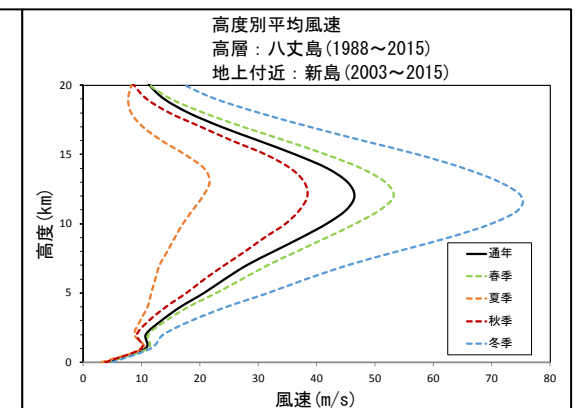
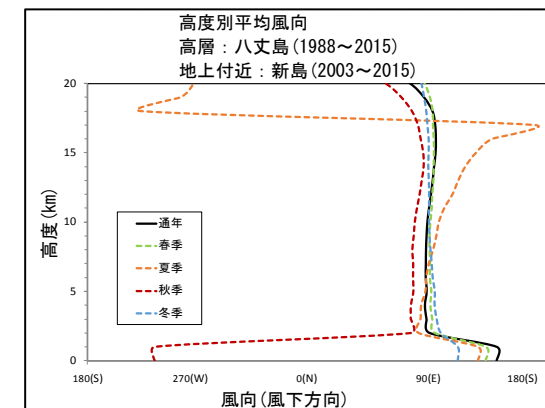
想定火口位置	▲
年平均風向風速による降灰堆積厚分布	-----
風向のばらつきを考慮した降灰堆積厚分布	■ 1cm以上堆積
	■ 3cm以上堆積

< 凡例(施設) >

■	支庁出張所
■	村役場・支所
Y	消防所
▼	警察署・駐在所
—●—	都道
—	主要な村道
⚓	港湾
⚓	漁港
✈	空港
⊕	内燃力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメータ	設定値
噴出量（見かけ体積）	250万 m ³
噴出量（DRE体積）	100万 m ³
噴煙柱高度	6.0km
風向	高度別年平均風向と平均風向±σ
風速	高度別年平均風速



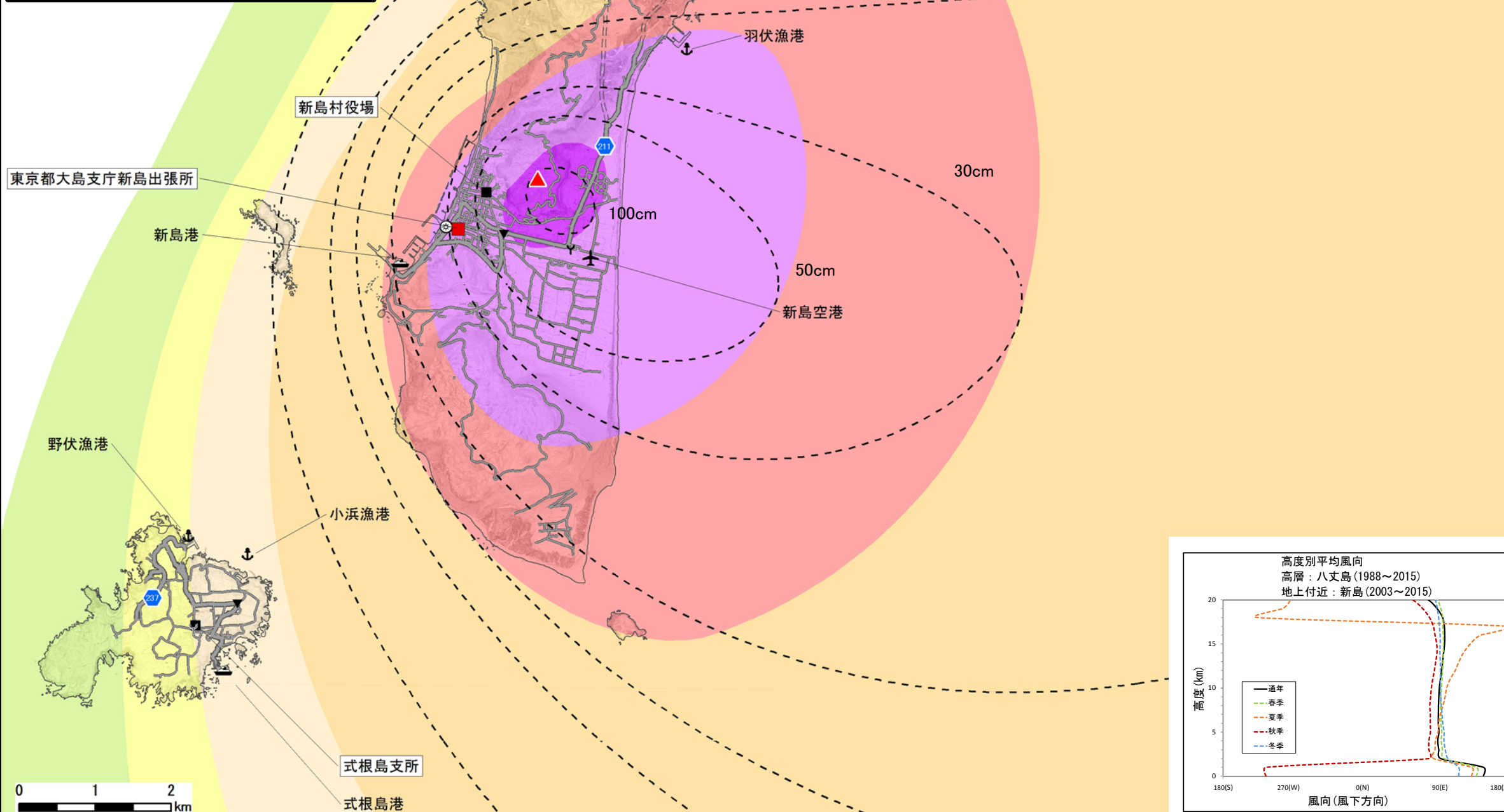
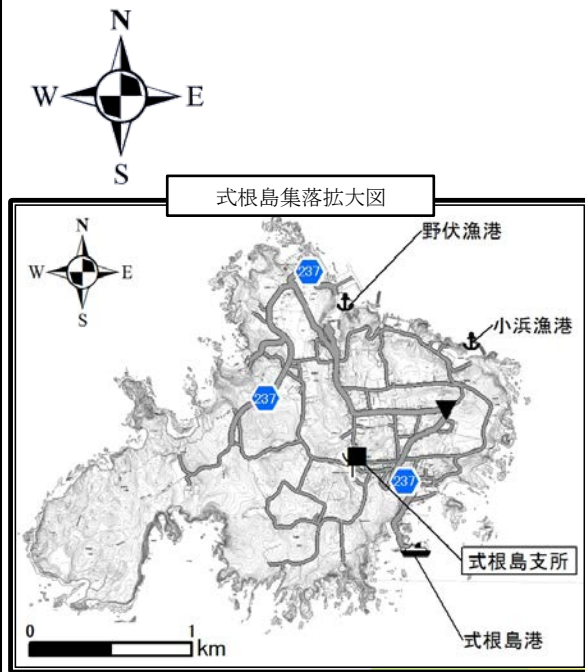
※ 風のデータは八丈島特別地域気象観測所および新島アメダスの観測値を使用

新島火山ハザードマップ（火山灰：1億DRE m³、新島中央部を想定火口とした場合）

マップの見方

- このマップは新島で噴火が発生し、想定火口から1億DREm³の火山灰（小さな噴石を含む。以下同様）が噴出した場合に堆積する厚さ及び範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 風向のばらつきを考慮した分布（カラー表示）は、季節による風向のばらつきを考慮した分布をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に堆積するものではない。
- 実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模、風向、風速等の条件によって分布は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものの。



< 凡例(火山現象) >

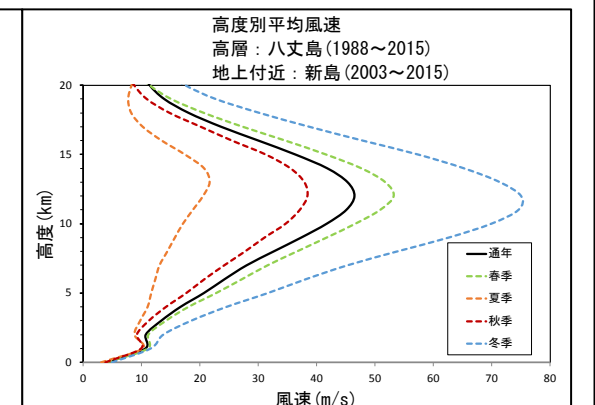
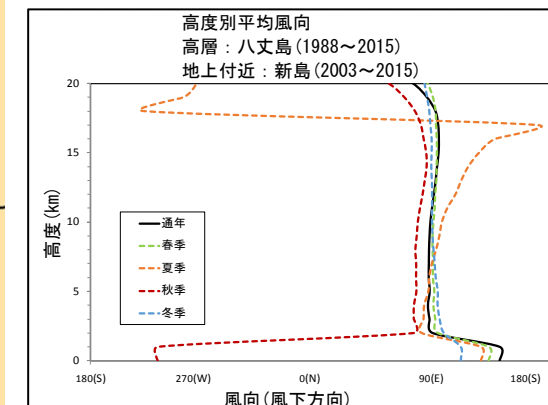
想定火口位置	▲
年平均風向風速による降灰堆積厚分布	-----
風向のばらつきを考慮した降灰堆積厚分布	1cm以上堆積
	3cm以上堆積
	5cm以上堆積
	10cm以上堆積
	30cm以上堆積
	50cm以上堆積
	100cm以上堆積

< 凡例(施設) >

■	支庁出張所
■	村役場・支所
⌵	消防所
▼	警察署・駐在所
—●—	都道
—	主要な村道
⚓	港湾
⚓	漁港
✈	空港
⊕	内燃力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメータ	設定値
噴出量（見かけ体積）	2.5億m ³
噴出量（DRE体積）	1億m ³
噴煙柱高度	19.3km
風向	高度別年平均風向と平均風向±σ
風速	高度別年平均風速



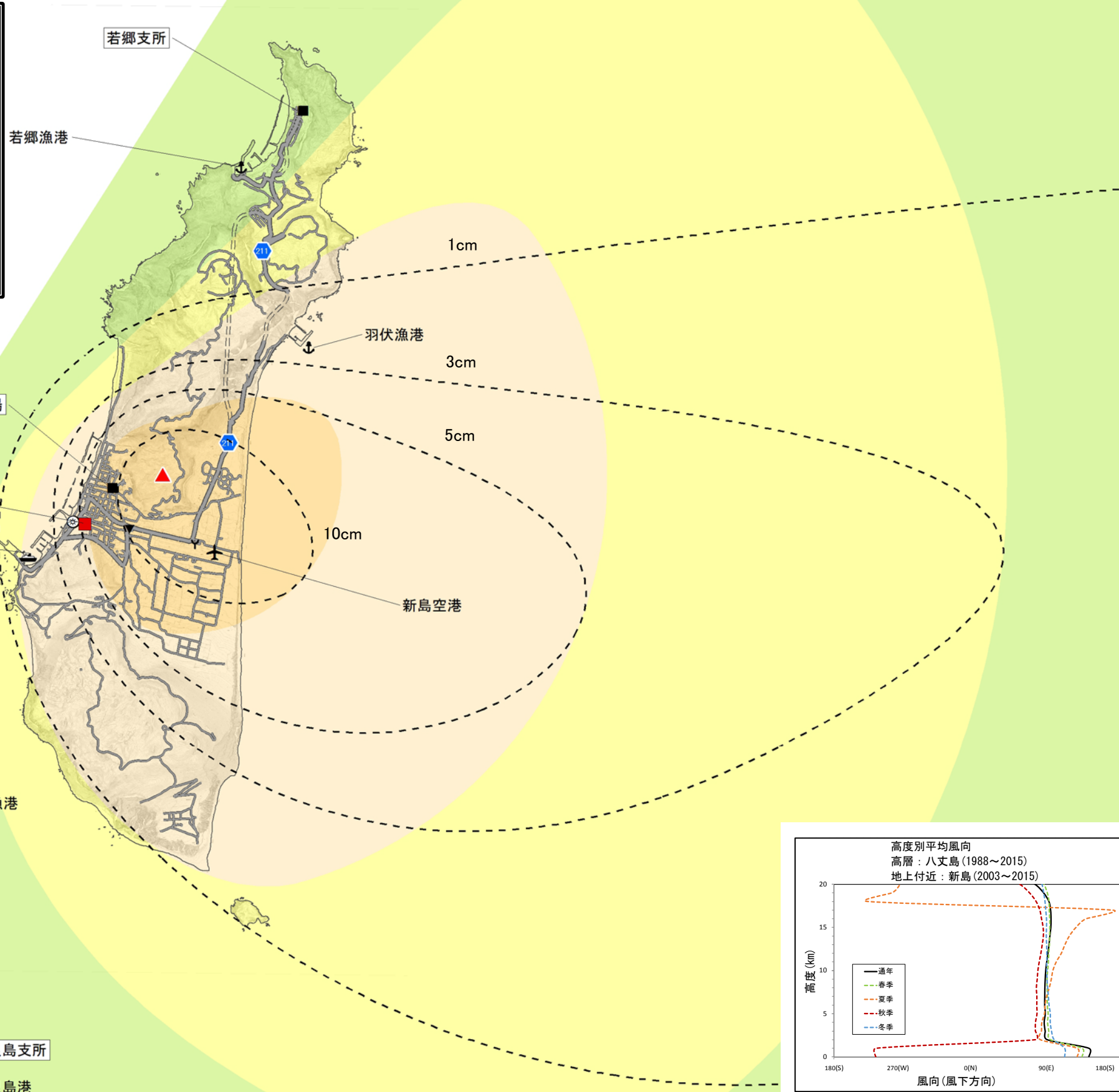
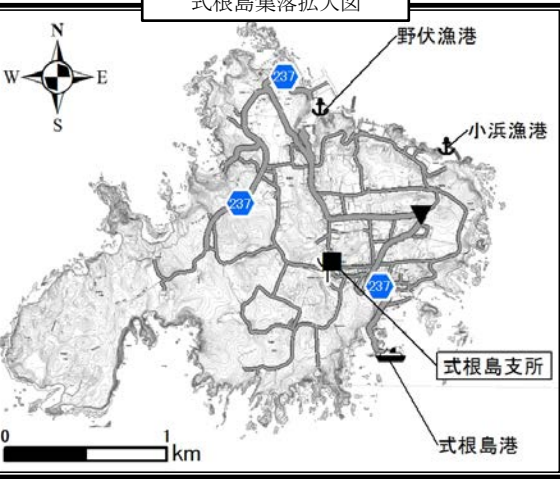
※ 風のデータは八丈島特別地域気象観測所および新島アマダスの観測値を使用

新島火山ハザードマップ（火山灰：1,000万DRE m³、新島中央部を想定火口とした場合）

マップの見方

- このマップは新島で噴火が発生し、想定火口から1,000万DRE m³の火山灰（小さな噴石を含む。以下同様）が噴出した場合に堆積する厚さ及び範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 風向のばらつきを考慮した分布（カラー表示）は、季節による風向のばらつきを考慮した分布をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に堆積するものではない。
- 実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模、風向、風速等の条件によって分布は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものの。



東京都大島支庁新島出張所

野伏漁港

小浜漁港

式根島支所

式根島港

< 凡例(火山現象) >

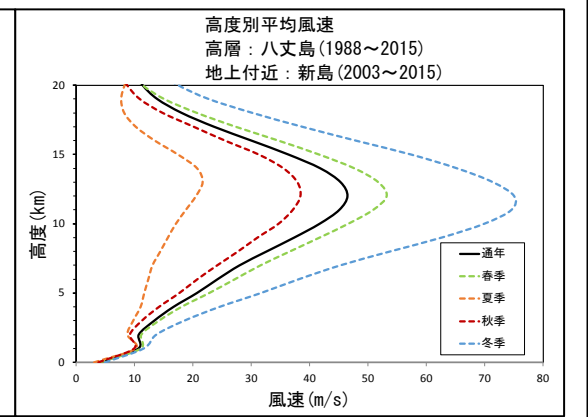
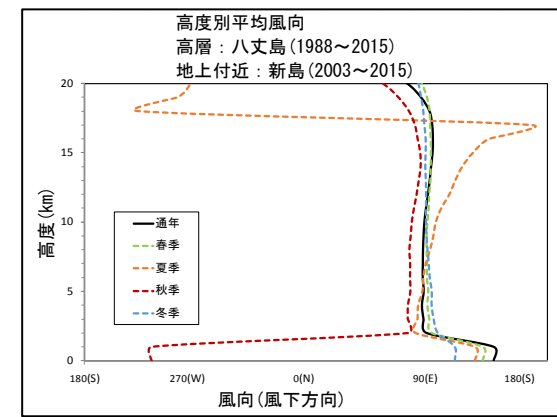
想定火口位置	▲
年平均風向風速による降灰堆積厚分布	-----
風向のばらつきを考慮した降灰堆積厚分布	1cm以上堆積
	3cm以上堆積
	5cm以上堆積
	10cm以上堆積

< 凡例(施設) >

■	支庁出張所
■	村役場・支所
ㇿ	消防所
▼	警察署・駐在所
—●—	都道
—	主要な村道
⚓	港湾
⚓	漁港
✈	空港
⊕	内燃力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメータ	設定値
噴出量(見かけ体積)	2,500万m ³
噴出量(DRE体積)	1,000万m ³
噴煙柱高度	12.7km
風向	高度別年平均風向と平均風向±σ
風速	高度別年平均風速



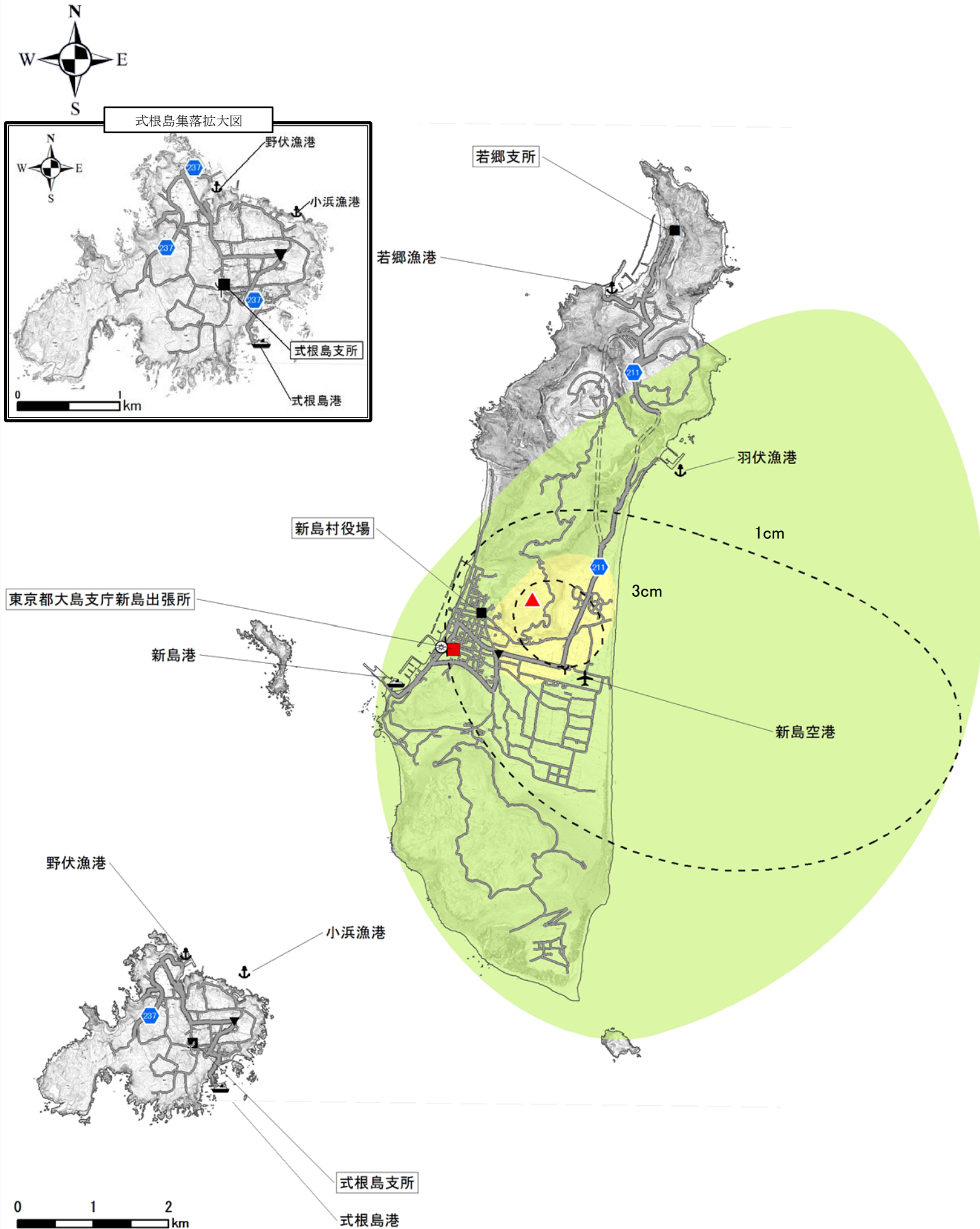
※ 風のデータは八丈島特別地域気象観測所および新島アメダスの観測値を使用

新島火山ハザードマップ（火山灰：100万 DRE m³、新島中央部を想定火口とした場合）

マップの見方

- このマップは新島で噴火が発生し、想定火口から100万DREm³の火山灰（小さな噴石を含む。以下同様）が噴出した場合に堆積する厚さ及び範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 風向のばらつきを考慮した分布（カラー表示）は、季節による風向のばらつきを考慮した分布をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に堆積するものではない。
- 実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模、風向、風速等の条件によって分布は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものの。



< 凡例(火山現象) >

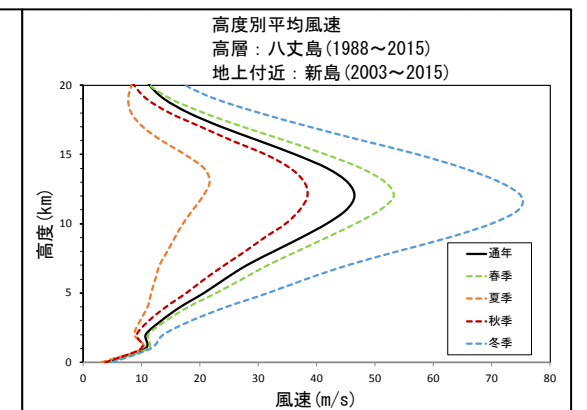
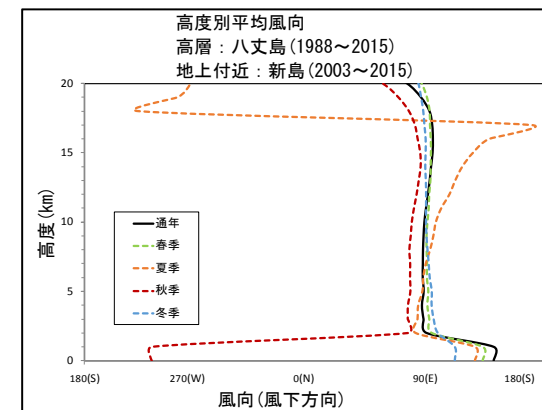
想定火口位置	▲
年平均風向風速による降灰堆積厚分布	-----
風向のばらつきを考慮した降灰堆積厚分布	■ 1cm以上堆積 ■ 3cm以上堆積

< 凡例(施設) >

■	支庁出張所
■	村役場・支所
Y	消防所
▼	警察署・駐在所
●	都道
—	主要な村道
⚓	港湾
⚓	漁港
✈	空港
⚡	内火力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメータ	設定値
噴出量(見かけ体積)	250万m ³
噴出量(DRE体積)	100万m ³
噴煙柱高度	6.0km
風向	高度別年平均風向と平均風向±σ
風速	高度別年平均風速



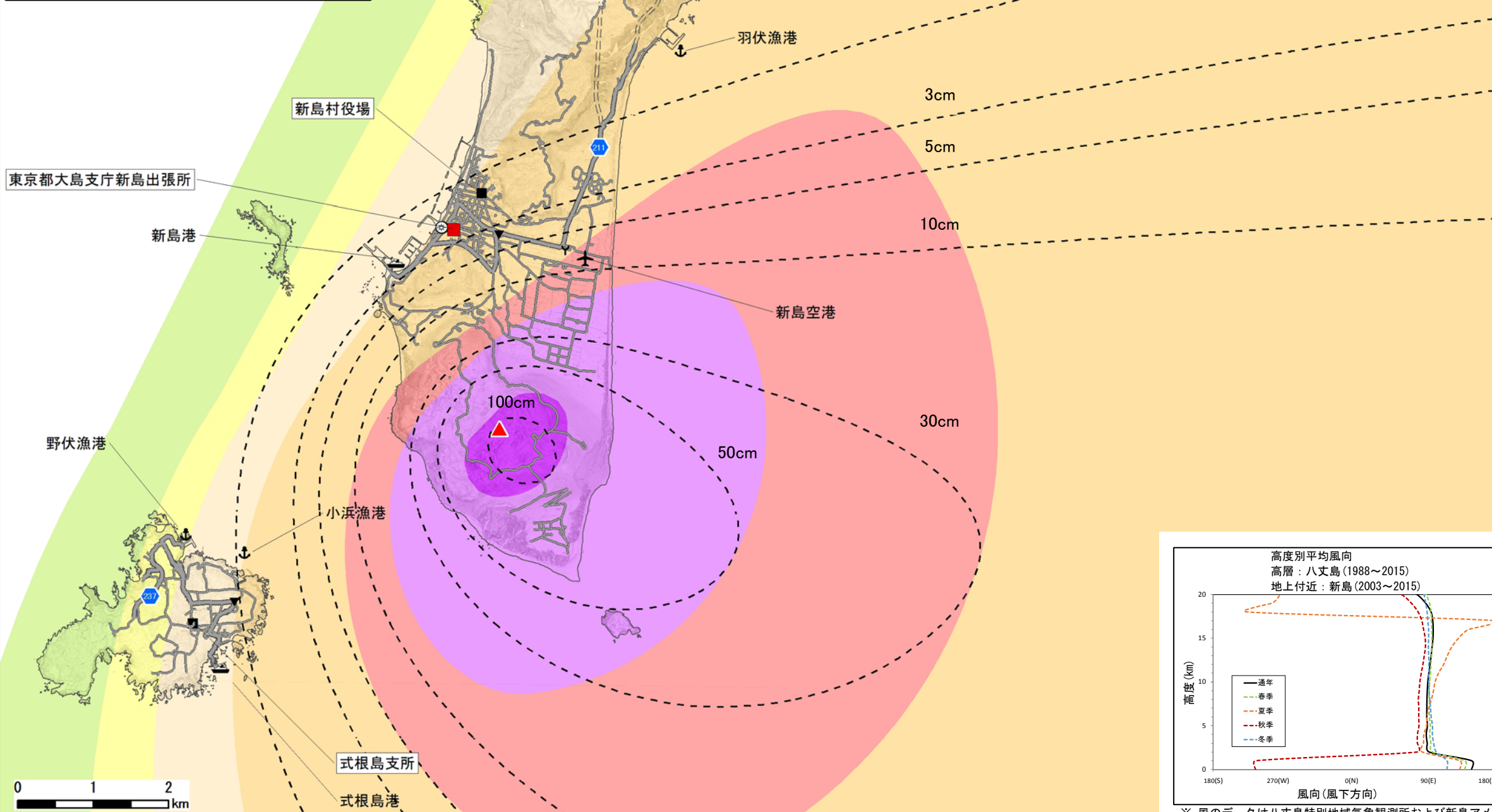
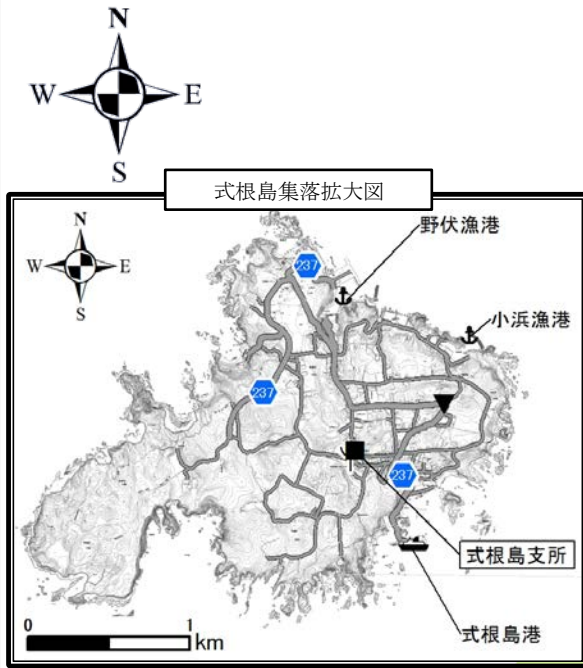
※ 風のデータは八丈島特別地域気象観測所および新島アメダスの観測値を使用

新島火山ハザードマップ（火山灰：1億 DRE m³、新島南部を想定火口とした場合）

マップの見方

- このマップは新島で噴火が発生し、想定火口から1億DREm³の火山灰（小さな噴石を含む。以下同様）が噴出した場合に堆積する厚さ及び範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 風向のばらつきを考慮した分布（カラー表示）は、季節による風向のばらつきを考慮した分布をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に堆積するものではない。
- 実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模、風向、風速等の条件によって分布は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものの。



< 凡例(火山現象) >

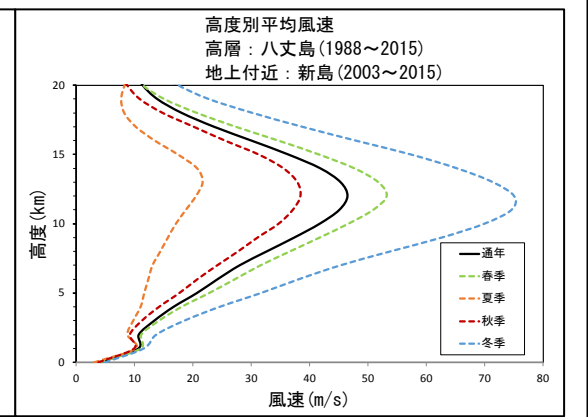
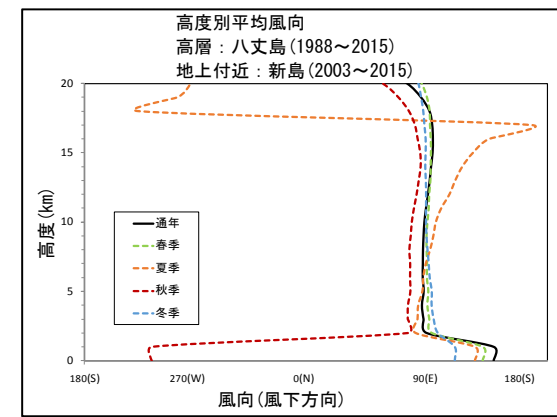
想定火口位置	▲
年平均風向風速による降灰堆積厚分布	-----
風向のばらつきを考慮した降灰堆積厚分布	1cm以上堆積
	3cm以上堆積
	5cm以上堆積
	10cm以上堆積
	30cm以上堆積
	100cm以上堆積

< 凡例(施設) >

■	支庁出張所
■	村役場・支所
Y	消防所
▼	警察署・駐在所
—●—	都道
—	主要な村道
⚓	港湾
⚓	漁港
✈	空港
⊕	内火力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメータ	設定値
噴出量（見かけ体積）	2.5億m ³
噴出量（DRE体積）	1億m ³
噴煙柱高度	19.3km
風向	高度別年平均風向と平均風向±σ
風速	高度別年平均風速



※ 風のデータは八丈島特別地域気象観測所および新島アメダスの観測値を使用

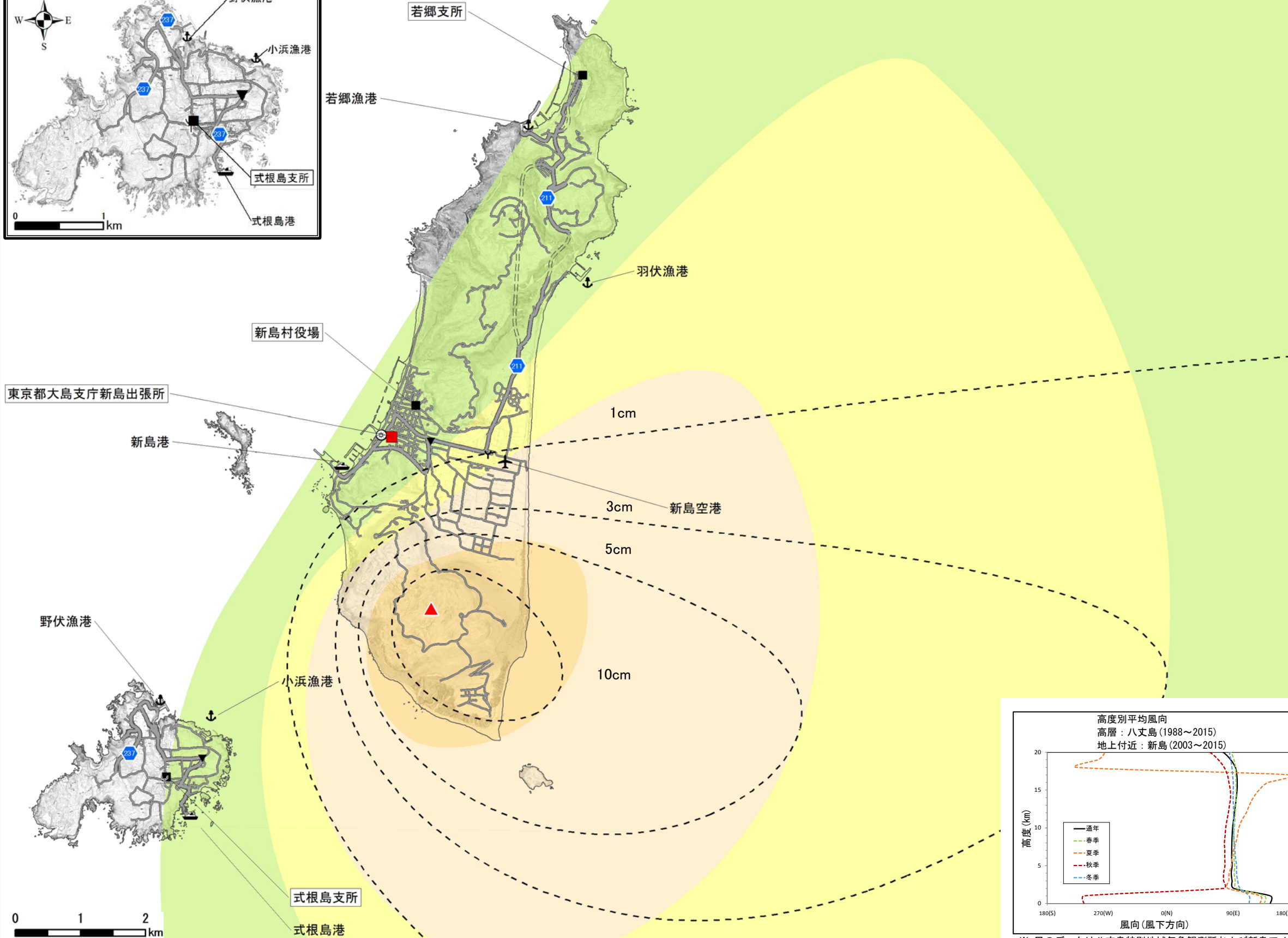
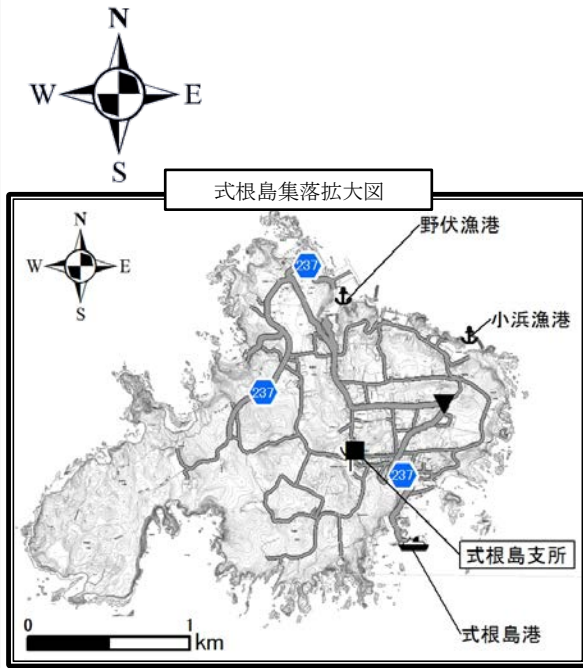
この地図は、国土地理院長の承認（平 19 関公第 377 号）を得て作成した東京都地形図（S=1:2,500）を使用（29 都市基交第 496 号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。

新島火山ハザードマップ（火山灰：1,000万DRE m³、新島南部を想定火口とした場合）

マップの見方

- このマップは新島で噴火が発生し、想定火口から1,000万DREm³の火山灰（小さな噴石を含む。以下同様）が噴出した場合に堆積する厚さ及び範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 風向のばらつきを考慮した分布（カラー表示）は、季節による風向のばらつきを考慮した分布をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に堆積するものではない。
- 実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模、風向、風速等の条件によって分布は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものの。



< 凡例(火山現象) >

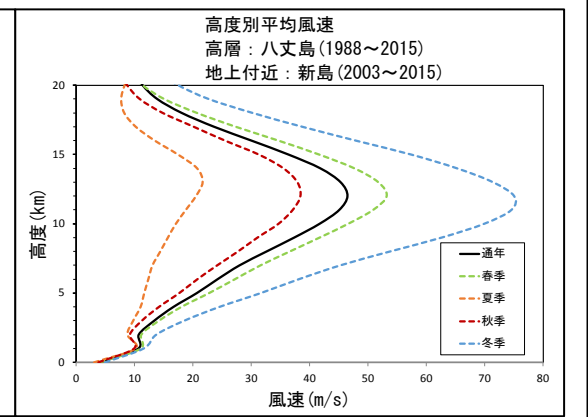
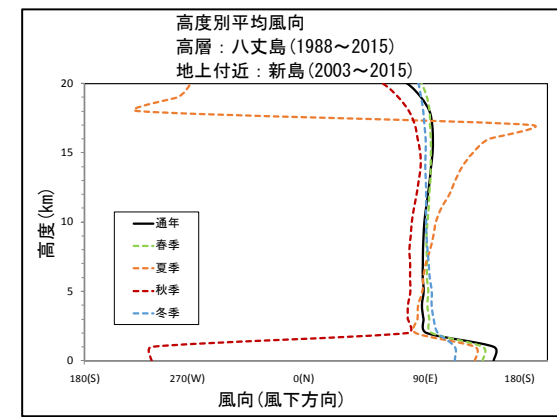
想定火口位置	▲
年平均風向風速による降灰堆積厚分布	-----
風向のばらつきを考慮した降灰堆積厚分布	1cm以上堆積
	3cm以上堆積
	5cm以上堆積
	10cm以上堆積

< 凡例(施設) >

■	支庁出張所
■	村役場・支所
Y	消防所
▼	警察署・駐在所
—●—	都道
—	主要な村道
⚓	港湾
⚓	漁港
✈	空港
⊕	内燃力発電所

【シミュレーションの設定値】

使用パラメータ	設定値
噴出量（見かけ体積）	2,500万m ³
噴出量（DRE体積）	1,000万m ³
噴煙柱高度	12.7km
風向	高度別年平均風向と平均風向±σ
風速	高度別年平均風速



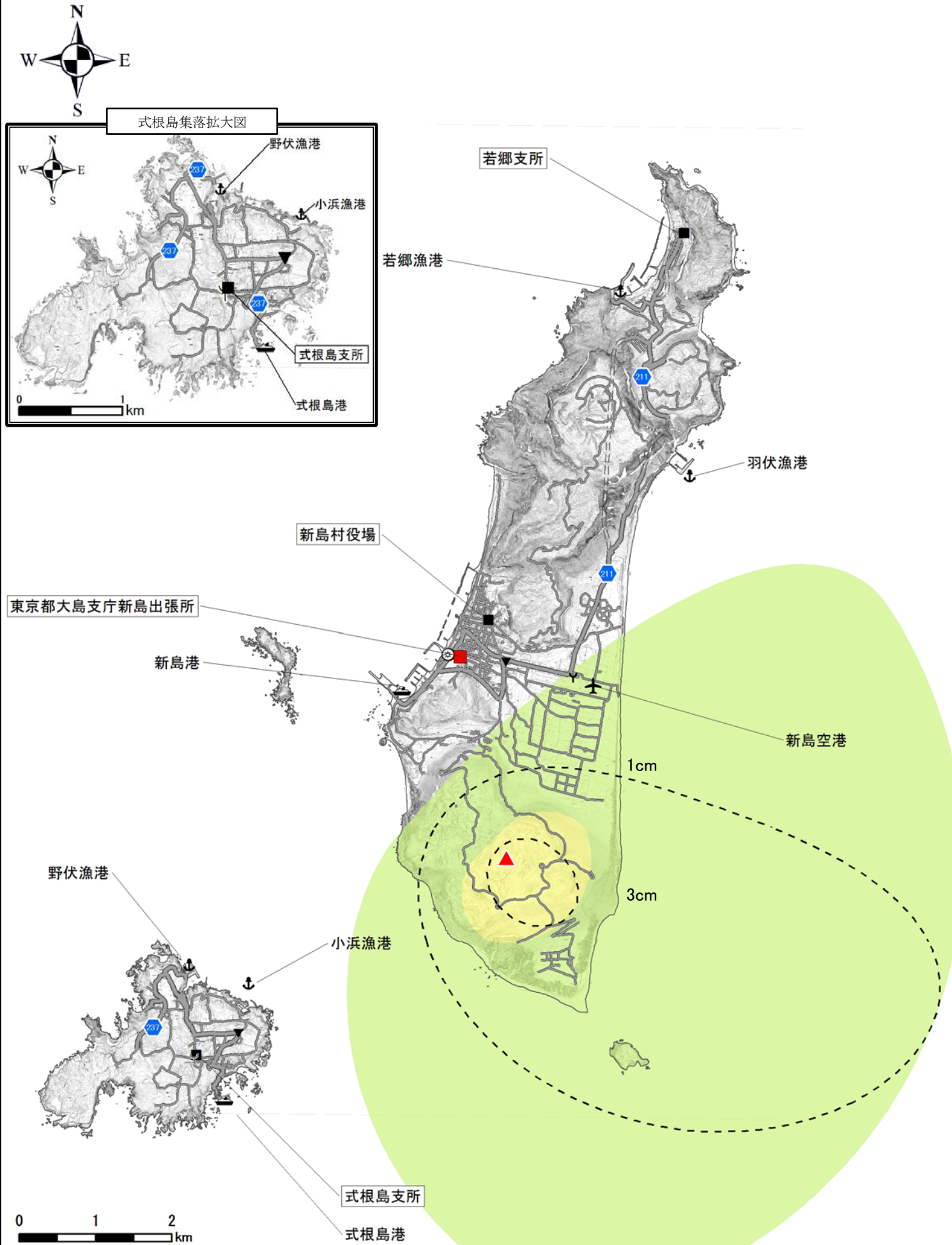
※ 風のデータは八丈島特別地域気象観測所および新島アメダスの観測値を使用

新島火山ハザードマップ（火山灰：100万 DRE m³、新島南部を想定火口とした場合）

マップの見方

- このマップは新島で噴火が発生し、想定火口から100万DREm³の火山灰（小さな噴石を含む。以下同様）が噴出した場合に堆積する厚さ及び範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 風向のばらつきを考慮した分布（カラー表示）は、季節による風向のばらつきを考慮した分布をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に堆積するものではない。
- 実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模、風向、風速等の条件によって分布は変化する。

※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものの。



< 凡例(火山現象) >

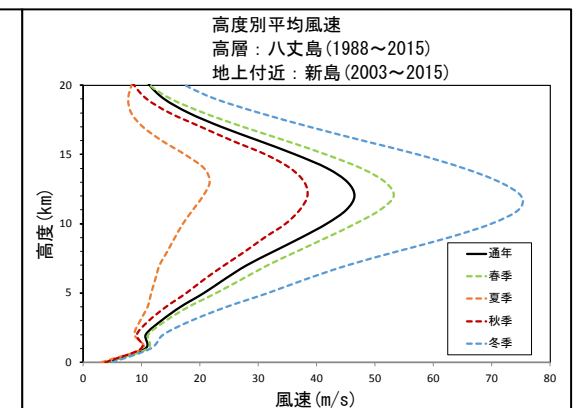
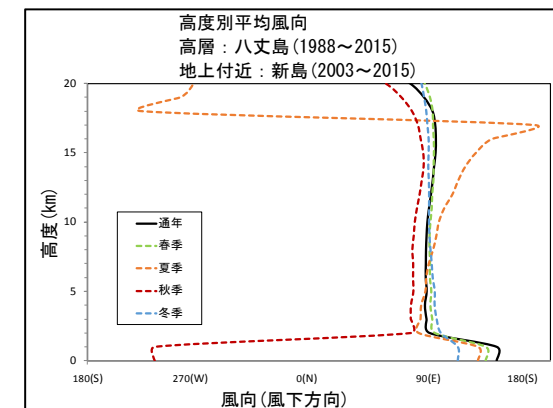
想定火口位置	▲
年平均風向風速による降灰堆積厚分布	-----
風向のばらつきを考慮した降灰堆積厚分布	1cm以上堆積
	3cm以上堆積

< 凡例(施設) >

■	支庁出張所
■	村役場・支所
Y	消防所
▼	警察署・駐在所
●	都道
—	主要な村道
⚓	港湾
⚓	漁港
✈	空港
⊕	内燃力発電所

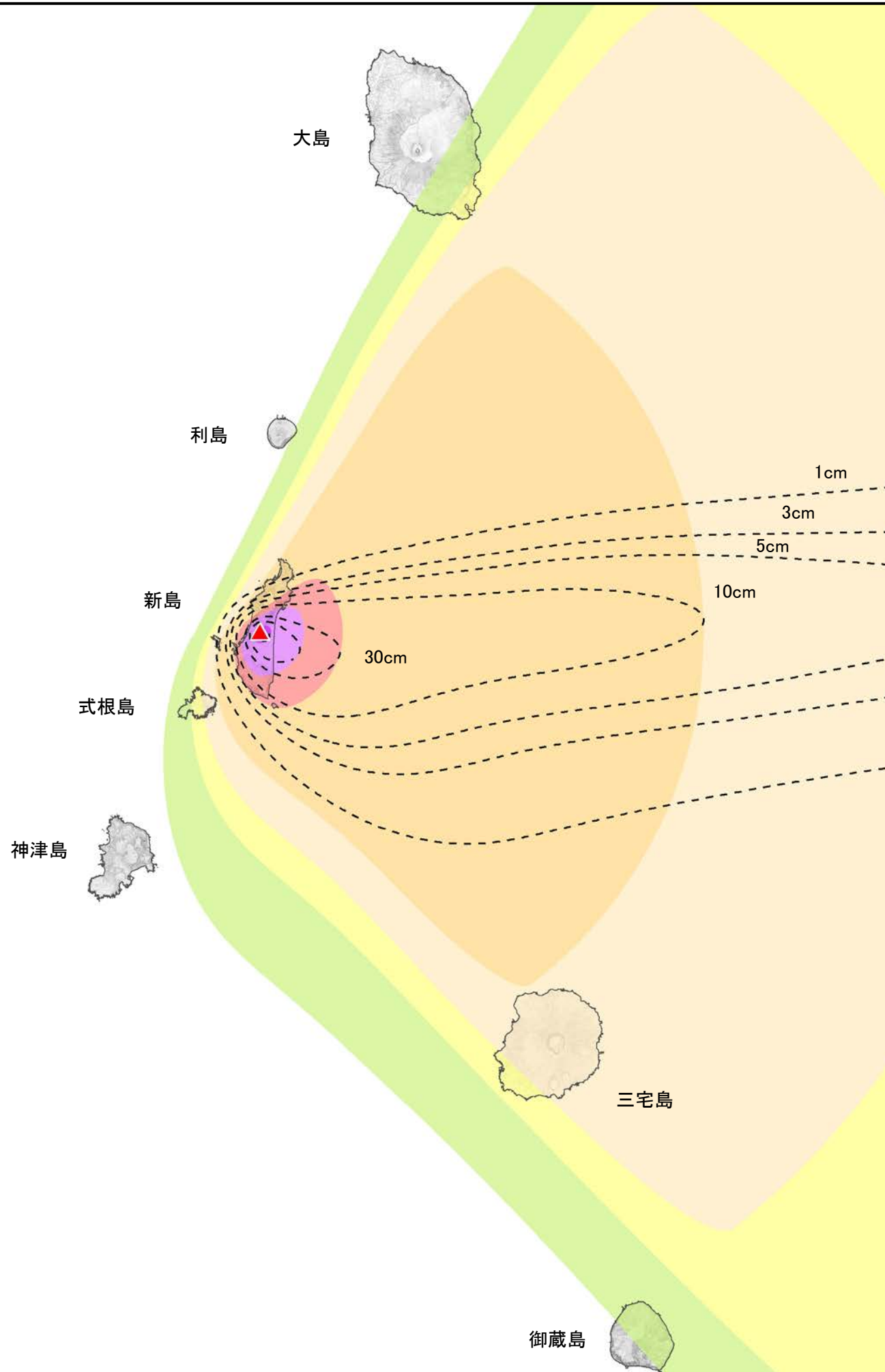
【シミュレーションの設定値】

使用パラメータ	設定値
噴出量(見かけ体積)	250万m ³
噴出量(DRE体積)	100万m ³
噴煙柱高度	6.0km
風向	高度別年平均風向と平均風向±σ
風速	高度別年平均風速



※ 風のデータは八丈島特別地域気象観測所および新島アメダスの観測値を使用

新島火山ハザードマップ（火山灰：1億 DRE m³、新島中央部を想定火口とした場合・広域図）



マップの見方

- このマップは新島で噴火が発生し、想定火口から1億DREm³の火山灰（小さな噴石を含む。以下同様）が噴出した場合に堆積する厚さ及び範囲を、シミュレーションにより予測したものである。
- 風向のばらつきを考慮した分布（カラー表示）は、季節による風向のばらつきを考慮した分布をまとめて示したものであり、範囲の全てに同時に堆積するものではない。
- 実際に噴火した場合、火口位置、噴火規模、風向、風速等の条件によって分布は変化する。

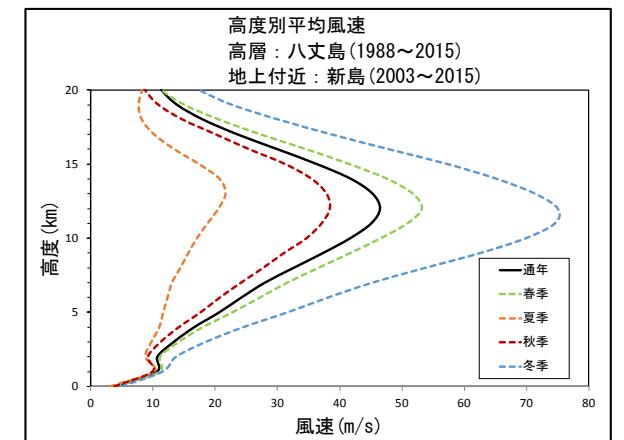
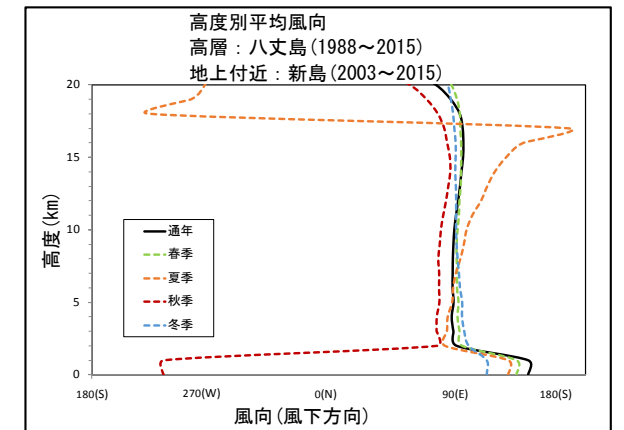
※「DRE」とは、噴火による総噴出物量をマグマの容積に換算したものの。

< 凡例(火山現象) >

想定火口位置	▲
年平均風向風速による降灰堆積厚分布	-----
風向のばらつきを考慮した降灰堆積厚分布	1cm以上堆積
	3cm以上堆積
	5cm以上堆積
	10cm以上堆積
	30cm以上堆積
	50cm以上堆積
	100cm以上堆積

【シミュレーションの設定値】

使用パラメータ	設定値
噴出量（見かけ体積）	2.5億m ³
噴出量（DRE体積）	1億m ³
噴煙柱高度	19.3km
風向	高度別年平均風向と平均風向±σ
風速	高度別年平均風速



※ 風のデータは八丈島特別地域気象観測所および新島アメダスの観測値を使用